

資 料 編

資料 1. 森と海をつなぐ水の物語.....	112
資料 2. 開発 ^{かすみ} 震自然再生の整備について	116
資料 3. 第 2 次東温市総合計画 まちづくり 市民アンケート調査	117
I. 実施の概要	117
II. 結果の概要	117
資料 4. 第 2 次東温市環境基本計画 アンケート調査	122
I. 実施の概要	122
II. 結果の概要	124
1. 市民アンケート	124
2. 事業者アンケート.....	139
3. 小・中学生アンケート	150
資料 5. 策定の経緯.....	156

資料 1. 森と海をつなぐ水の物語

水資源の循環

本市は総面積の76%を森林が占め、森林資源に非常に恵まれています。森林は生物多様性の保全、土砂災害防止、土壌保全、水源かん養などのさまざまな機能を担っています。落葉が育てた肥沃な土の栄養塩を含んだ水が川へそして棚田へ流れ、やがて海に流れて海の生き物を育てていくため、「森は海の恋人」とも言われています。これらの森林の持つ多面的機能を持続的に発揮できるよう、本市は環境教育やバイオマスの利活用、自伐型林業の推進など、森林環境の保全を推進し、森林への恩返しをしていく必要があります。

森から川を経て流れる農業用水については、水田に灌水され地下水のかん養につながるとともに、市街地や集落も田畑に囲まれていることから、気温上昇を抑えるなどの地域のミクロな気候を緩和する機能もあると考えられます。

水力発電(自然エネルギーの自給率)

本市には、面河ダムからの分水を利用した水力発電所「道前道後発電所」が立地しています。これは「道前道後水利総合開発事業」の一環として建設されたもので、愛媛県公営企業管理局が管理し、四国電力株式会社に売電されています。最大出力は、第二発電所が11,000 kW、第三発電所が10,600 kWです。

愛媛県電気事業中期経営計画【平成22(2010)年度～平成31(2019)年度】によれば、年間発生電力量は2つの発電所の合計で89,400MWhとなっています。これは市の全電力使用量^{*1}(218,595MWh)の40.9%を占め、そのうち民生家庭用の使用電力^{*2}(76,220MWh)でみると、そのすべてをまかなっていることとなります。この水力発電所の立地は、自然エネルギーの自給率(地産地消)の観点からみても貢献度が高いといえます。

出典:※1※2 東温市地域新エネルギービジョン 四国電力株式会社提供「平成17年度東温市使用電力量」

道前道後第二発電所



道前道後第三発電所



出典:愛媛県公営企業管理局 HP

西谷小学校 森のさかな「モーリー」

西谷小学校では、緑の少年隊活動で実際に植林体験をし、総合的な学習の時間や自然体験教室で自然と人との共生について理解を深めています。校庭には、藤部吉人先生と児童の「森のさかな」が泳いでいます。「モーリー」と呼ばれるこの魚は、森と海のつながりの象徴であり、この魚を見るたびに「森のさかな」の意味を考え、「海に続く森」を意識することになります。また、地域等に対して学校の取り組みや環境保全のメッセージを発信することで、さらに、海と森の関係を科学的に考察する力を養い、より一層「森のさかな」の意味について理解できるように学習を発展させています。



森のさかな「モーリー」：藤部吉人 作



「森のさかな」製作風景



藤部吉人先生 「森のさかな」授業



「森のさかな」と記念撮影



森のさかな「モーリー」写生会



愛媛県植樹祭 「森のさかな」発表

ぼくたちの森のさかな 「森のさかな」 除幕式 児童のこぼ

ぼくたちは、7月に藤部先生に教えていただきながら森のさかなをつくりました。

石を掘ったり本を読んだりして森のさかなの意味を考えました。総合的な学習の時間や自然体験教室での活動や緑の少年隊活動を続け、森を大切にすることがぼくたちの役目だと分かりました。

森のさかなが西谷に来ると聞いたとき、ぼくたちのつくった森のさかなのおかあさんが来てくれるような気がしていました。今日見てみると、でっかいのでお父さんのようにも感じました。

これからずっと、ぼくたちが自然と友達で、自然を大切にしているかを見ていてください。西谷小学校に森のさかなをありがとうございました。

資料：森はともだち～西谷の自然とともに生きる子どもたち～

「森から海につながる棚田の物語」

適切に整備された森から流れる水は、棚田へも流れていきます。棚田の生物多様性を守ることは、生態系の保全や質の高い農産物を作ることにもなるため、里地里山の一体型保全を目指していく必要があります。豊かな自然と森からの栄養塩を含んだ水によって育てられた作物が評価されることで、より一層の森・水・生態系の保全につながっていきます。今後は、農作物だけでなく、自然の美しさや文化的資源の魅力発信を目指していきます。

棚田が生んだ大賞 

東温・三内 すし米コンテストでダブル受賞



初出品での受賞を喜ぶ井内の生産者ら

▲ 地区活性化協議会「井内米」 ▲

「井内米」が知られたのは、現在、移住促進が、過疎高齢化などでや観光振興の拠点づくりに進む。「米だけでなく、自然の美しさや文化的資源の魅力発信にもつながっていく」と生産者ら。「これからは寒暖差や豊かな水が良産物。棚田を守り育んでいき質が評価された」と話したいと力を入れていく。(伊藤絵美)

豊かな自然 魅力発信へ

受賞したのは同市河 活性化協議会が出品し、坂本憲俊さん「井内米」(64)がつくる「コシヒカリ」(井内米)「穂田琉(ほたる)」コンテストは世界に協会が「アノホ」炊飯器の146点を審査。井内では地域活性化へ、15年6月に住民約20人で協議会を結成。棚田を生かした米づくりを柱にブランド化に取り組んできた。代表の永井公一さん(67)は「温度差や水、土の良さに自然がつくり出さず、回帰したい」と初出品で特Aランクを得た18点が大賞を受賞した。協力を生産し、さら河之内、井内、則之に知名度を高めたいと前を向く。旧川内町内の山間地域では現在、移住促進が、過疎高齢化などでや観光振興の拠点づくりに進む。「米だけでなく、自然の美しさや文化的資源の魅力発信にもつながっていく」と生産者ら。「これからは寒暖差や豊かな水が良産物。棚田を守り育んでいき質が評価された」と話したいと力を入れていく。(伊藤絵美)

米が「復活」へ。かつて米の産地として知られた東温市山あいの三内地区で生産された「種類」の棚田米がこのほど、「第3回すし米コンテスト・国際大会」(米・食味鑑定士協会主催)で大賞をダブル受賞した。「三内ならではの米のおいしさを評価してもらえた」と喜ぶ生産者。魅力を広めるきっかけにしようという意気込み。

▼ 坂本さん「穂田琉」 ▼

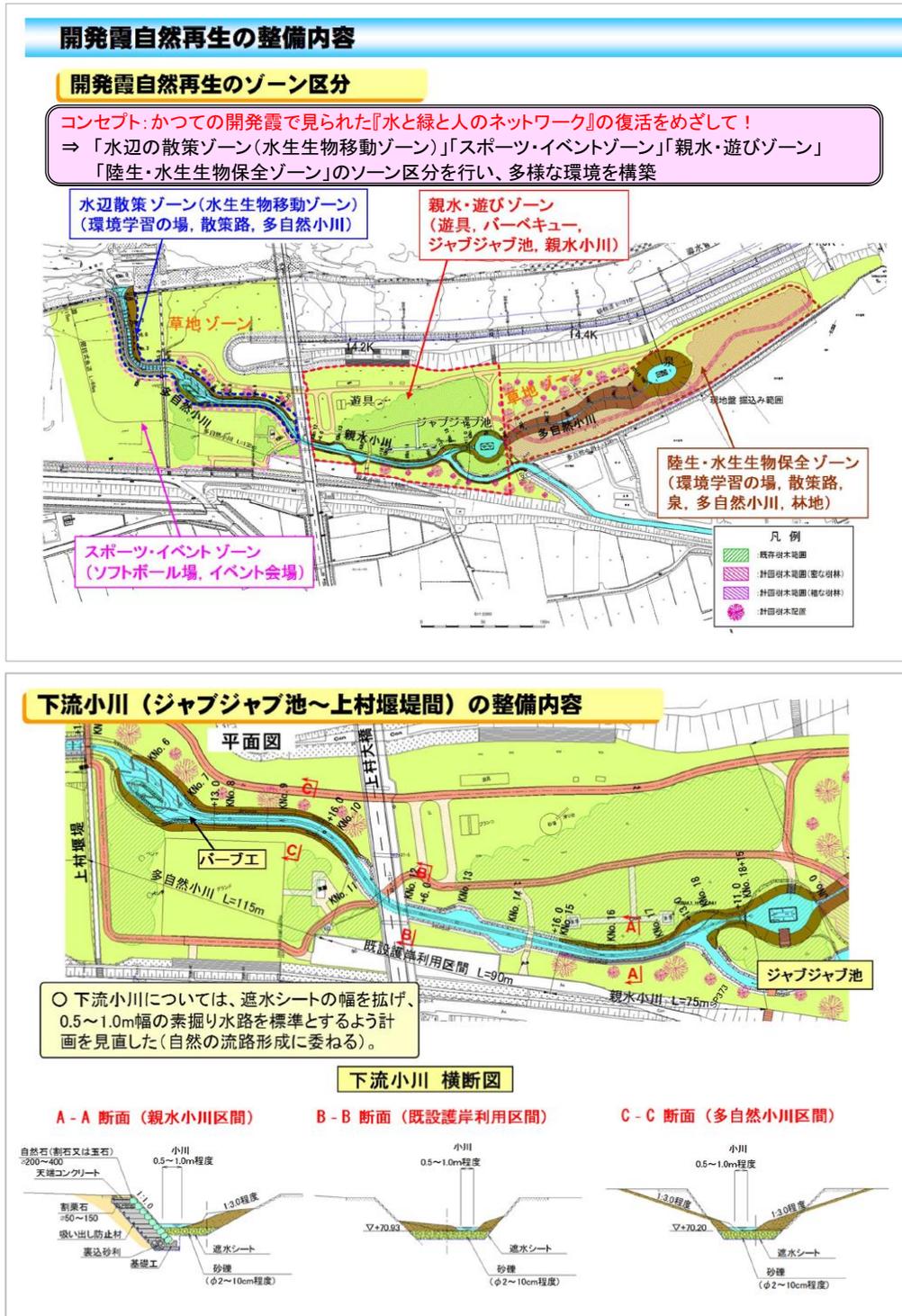


三内産の米の魅力を広めたいと語る坂本さん

出典：愛媛新聞(平成28(2016)年12月7日朝刊)

資料2. 開発霞^{かすみ}自然再生の整備について

国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所の主催により、かつての開発霞^{かすみ}で見られた「水と緑と人のネットワーク」の復活を目指し、魚類、鳥類、底生動物・昆虫類、植物の専門家の方々、地元関係団体、学校関係者等が参加したワークショップによる、具体的な整備内容や維持管理・利活用方法についての意見をもとに自然再生整備が進められています。



出典: 松山河川国道事務所

資料3. 第2次東温市総合計画 まちづくり 市民アンケート調査

I. 実施の概要

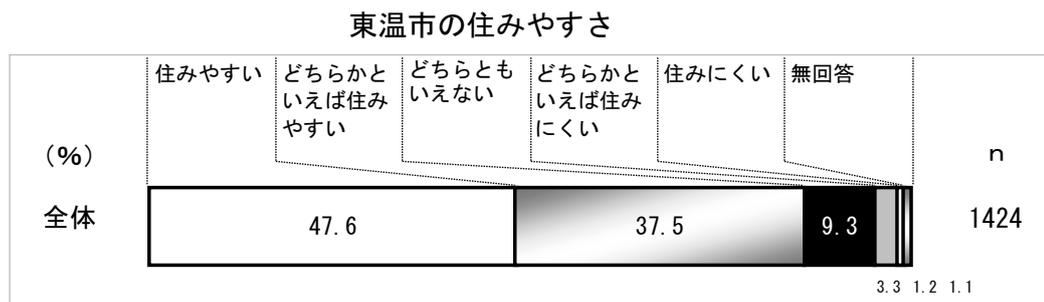
第2次東温市総合計画の策定にあたり、市民の定住意向や各分野における満足度・重要度、今後力を入れるべき施策などについて「まちづくり 市民アンケート調査」を実施しました。

対 象	一般市民（16歳以上）
実 施 年 月	平成26年7月
実 施 方 法	郵送による配布・回収
調査対象	3,000人
有効回収数	1,424（47.5%）

II. 結果の概要

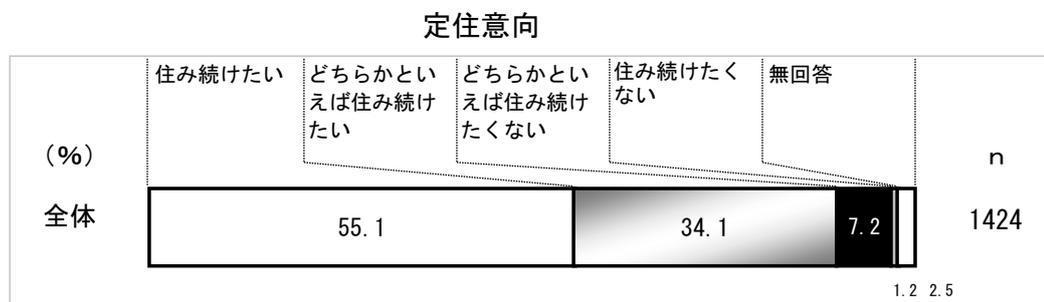
(1) 東温市の住み心地について

問 あなたは、東温市が「住みやすいまち」だと感じますか。



(2) 今後の定住意向について

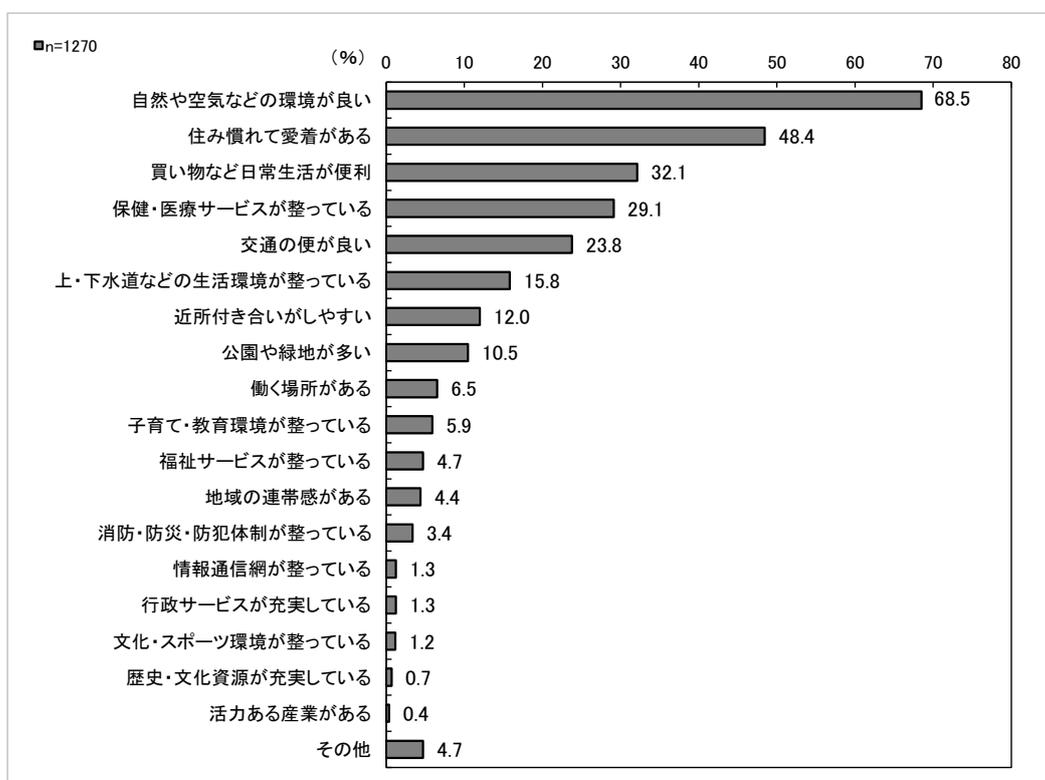
問 あなたは、これからも東温市に住み続けたいと思いますか。（進学や転勤などやむを得ない理由は無いものとしてお考えください。）



(3) 住み続けたい理由について

問 住み続けたいと思う主な理由は何ですか。(複数回答)

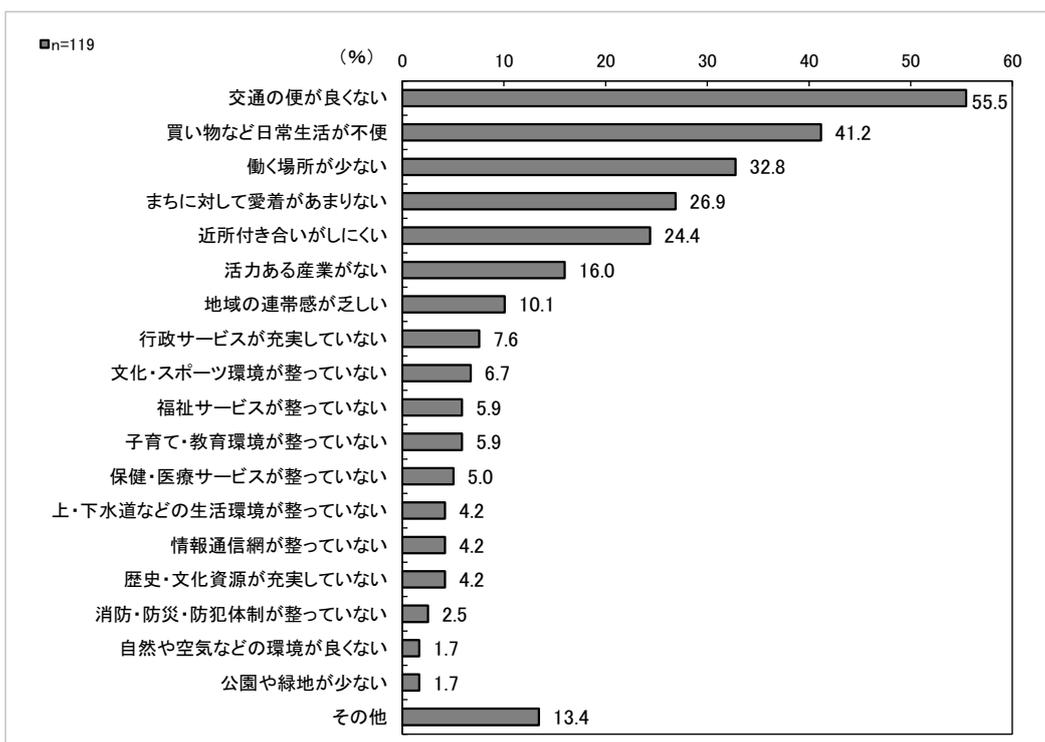
住み続けたい理由



(4) 住み続けたくない理由について

問 住み続けたくないと思う主な理由は何ですか。(複数回答)

住み続けたくない理由



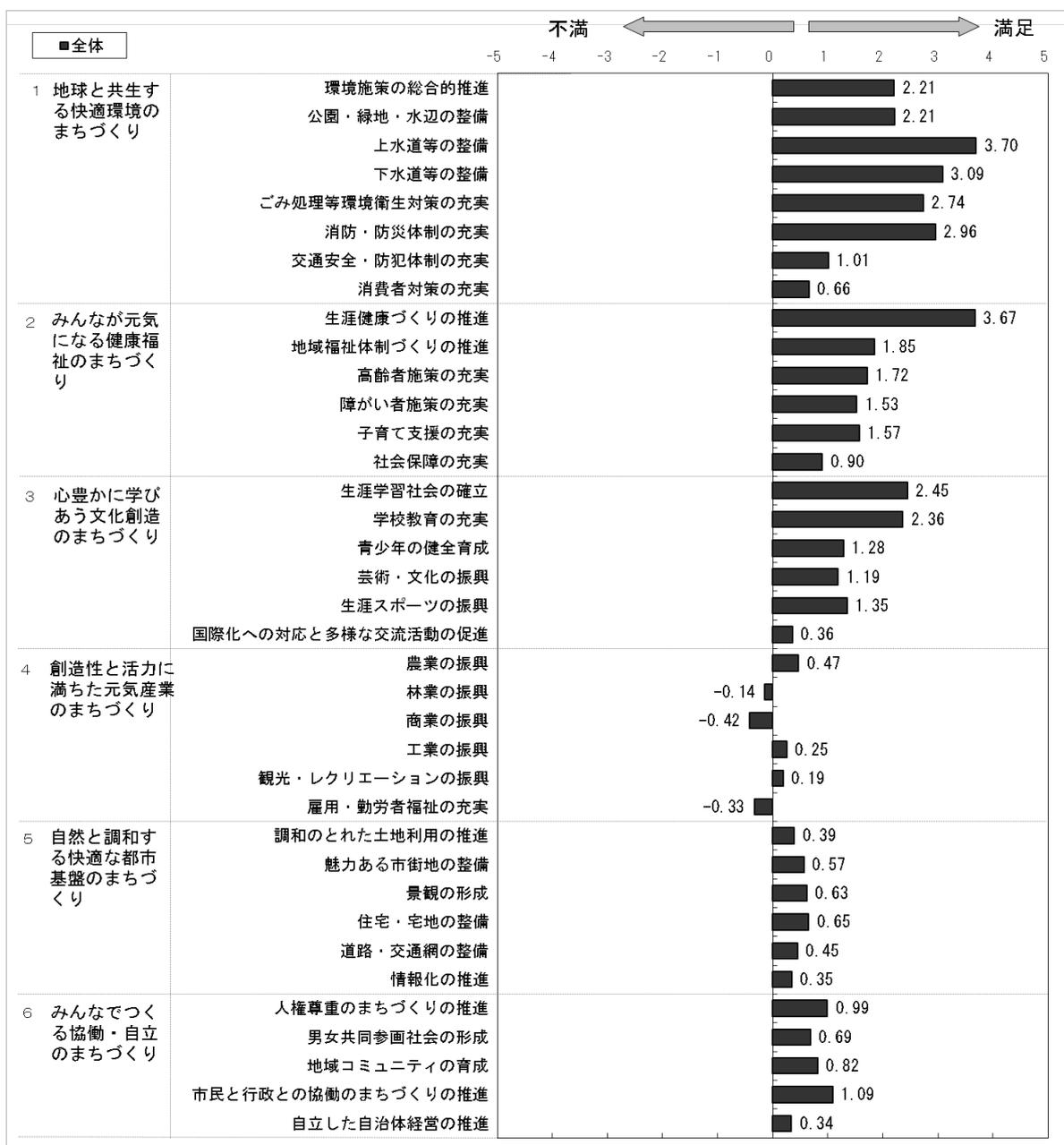
(5) 施策の満足度と重要度について

問 これまで東温市総合計画（平成18年度～平成27年度）に沿って進めてきた、各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。それぞれの項目ごとに、あなたのお考えに一番近い番号を1つ選んで○印をつけてください。

【これまでの施策の満足度】

東温市の各分野について、どの程度満足しているかを把握するため、生活環境、安全、産業・観光など6分野37項目を設定し、項目ごとに「満足」、「ある程度満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数値化で評価点（満足度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

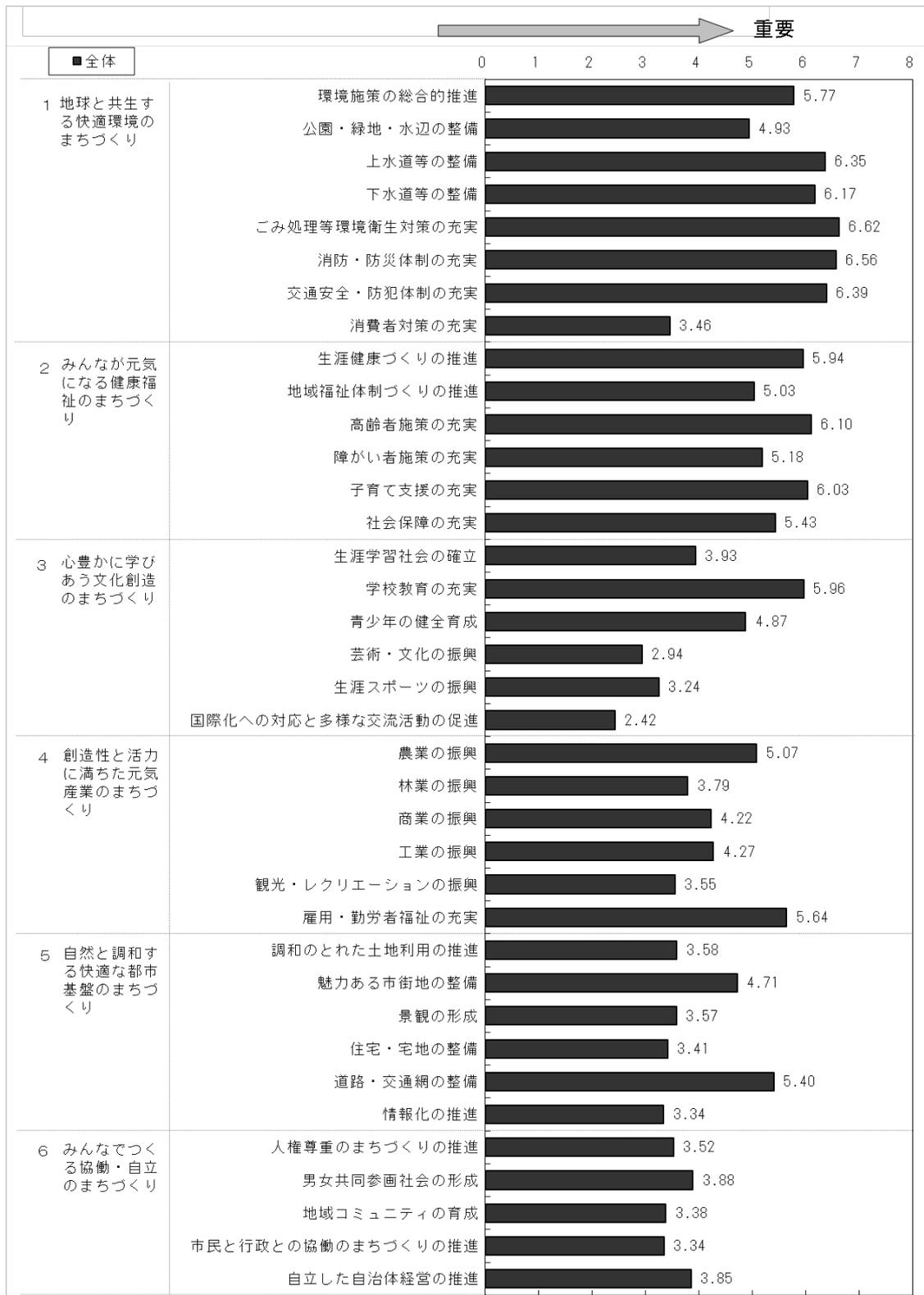
（単位：評価点）



【これからの施策の重要度】

東温市の各分野について、どの程度重視しているかを把握するため、37項目について、「重要である」、「やや重要」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、「重要でない」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数量化で評価点（重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

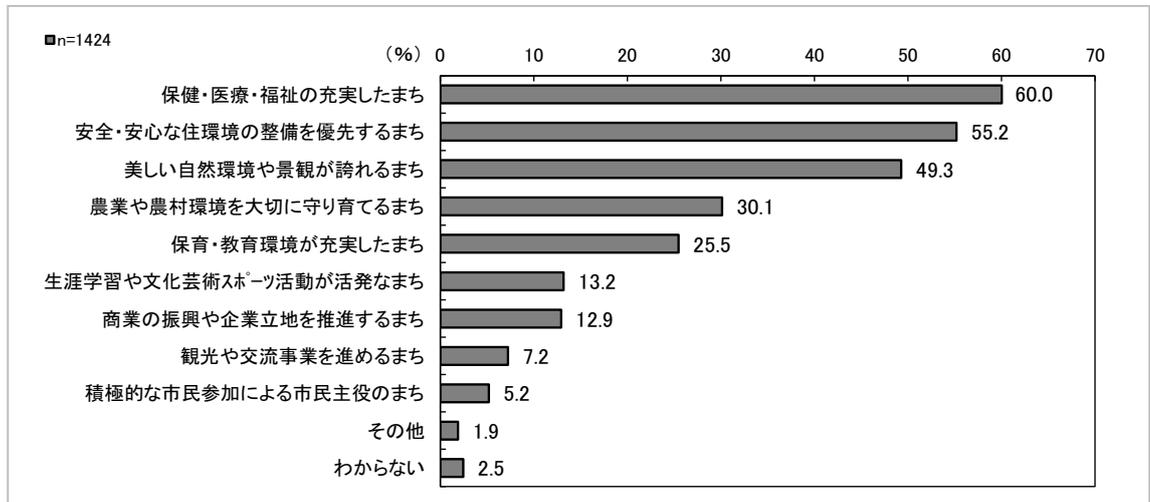
（単位：評価点）



(6) 今後望むまちづくりについて

問 あなたは、今後のまちづくりにおいて、東温市をどのようなまちにしたいと考えますか。

【複数回答】



資料 4. 第 2 次東温市環境基本計画 アンケート調査

I. 実施の概要

◆ 調査の目的

第 2 次東温市環境基本計画の策定にあたり、市民、事業者、小・中学生への意向調査を実施し、環境基本計画策定の基礎資料とします。

◆ 調査の項目

(1) 市民アンケート

アンケート項目	設問の内容
属性	性別・年齢・職業・居住年数
問 1～問 2 市の環境について	市の環境の変化や満足度
問 3 環境保全に関する取り組み	日常における環境保全活動の実施状況
問 4～問 5 環境保全活動について	環境保全活動への参加状況、取り組み意向
問 6～問 8 エネルギーの利用	エネルギーの利用状況、再生可能エネルギー等の利用
問 9～問 10 市の取り組みについて	市が取り組むべき環境課題 環境教育、環境学習の進め方
問 11～問 12 将来の環境について	市の将来のイメージ 大切にすべき資産、資源
問 13 自由意見	市の環境全般についての意見・要望など

(2) 事業者アンケート

アンケート項目	設問の内容
属性	業種、業務形態、従業員数
問 1～問 6 環境保全に関する取り組みについて	事業活動と環境問題の関連 環境関連の部署の設置 環境マネジメントシステムの認証取得状況 環境保全に向けた取り組みの実施状況 環境対策へ取り組むことへの認識 環境対策へ取り組む上での問題・課題
問 7～問 11 エネルギーの利用について	エネルギーの使用、管理状況 再生可能エネルギー設備等の利用
問 12～問 13 無料省エネ診断サービスについて	無料省エネ診断サービスの認識、意向
問 14 環境に関する情報について	情報の入手状況
問 15 市の取り組みについて	環境保全のために市が取り組むべき課題
問 16 市民の協力について	市民の協力を求めたいこと
問 17 自由意見	市の環境全般についての意見・要望など

(3) 小・中学生アンケート

アンケート項目	設問の内容
問1 学校名	学校名
問2～問3 まちの環境について	周辺の環境イメージ 家や学校のまわりの環境問題
問4 環境に気をつけていること	ごみの扱いや省エネについて
問5 環境問題の認識	地球環境レベルの問題意識
問6 今後の対策	環境改善の方策
問7～問8 自然体験教室などへの参加状況、参加意向	参加体験や参加意向
問9～問11 再生可能エネルギーについて	再生可能エネルギーの認識、活用が期待される再生可能エネルギー
問12 自由意見	市の環境について気になっていることや要望など

◆ 調査の対象

(1) 市民アンケート

住民基本台帳をもとに、無作為に抽出した20歳以上の市民1,000人

(2) 事業所アンケート

法人課税台帳等から無作為に抽出した市内の100事業所

(3) 小・中学生アンケート

小学5年生、中学2年生の全員

◆ 調査の実施方法

実施期間：平成27年10月27日（火）～11月9日（月）

配布及び回収：市民・事業者は、郵送配布、郵送回収

小・中学生は、学校配布、学校回収

	送付数	回収数	回収率
市民	1,000	458	45.8%
事業者	100	56	56.0%
小学生	305	305	100.0%
中学生	283	283	100.0%

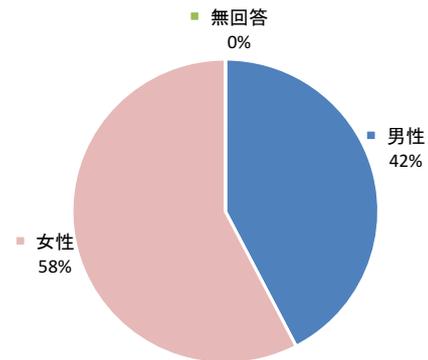
II. 結果の概要

1. 市民アンケート

○属性

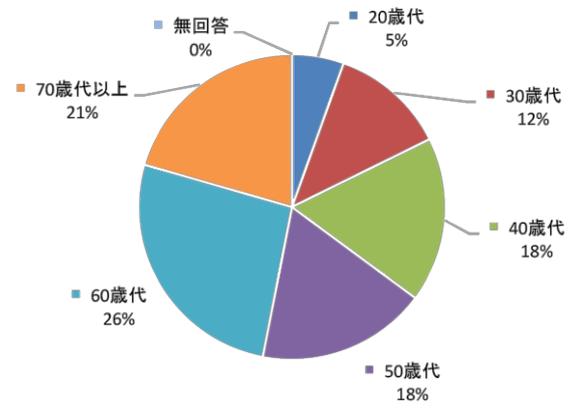
1) 性別

男性	194	42.4%
女性	264	57.6%
無回答	0	0.0%
合計	458	100.0%

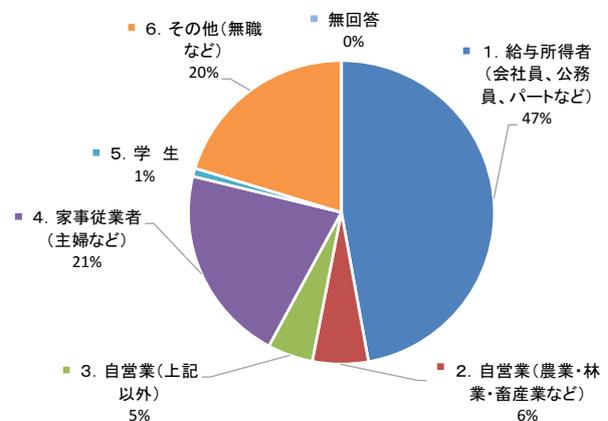


2) 年齢

20歳代	25	5.5%
30歳代	56	12.2%
40歳代	80	17.5%
50歳代	82	17.9%
60歳代	121	26.4%
70歳代以上	94	20.5%
無回答	0	0.0%
合計	458	100.0%



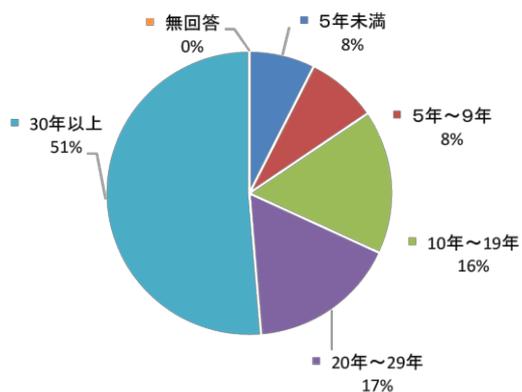
3) 職業



給与所得者 (会社員、公務員、パートなど)	216	47.2%
自営業 (農業・林業・畜産業など)	27	5.9%
自営業 (上記以外)	22	4.8%
家事従業者 (主婦など)	96	21.0%
学生	4	0.9%
その他 (無職など)	93	20.2%
無回答	0	0.0%
合計	458	100.0%

4) 居住年数

5年未満	34	7.4%
5年～9年	37	8.1%
10年～19年	75	16.4%
20年～29年	77	16.8%
30年以上	235	51.3%
無回答	0	0.0%
合計	458	100.0%

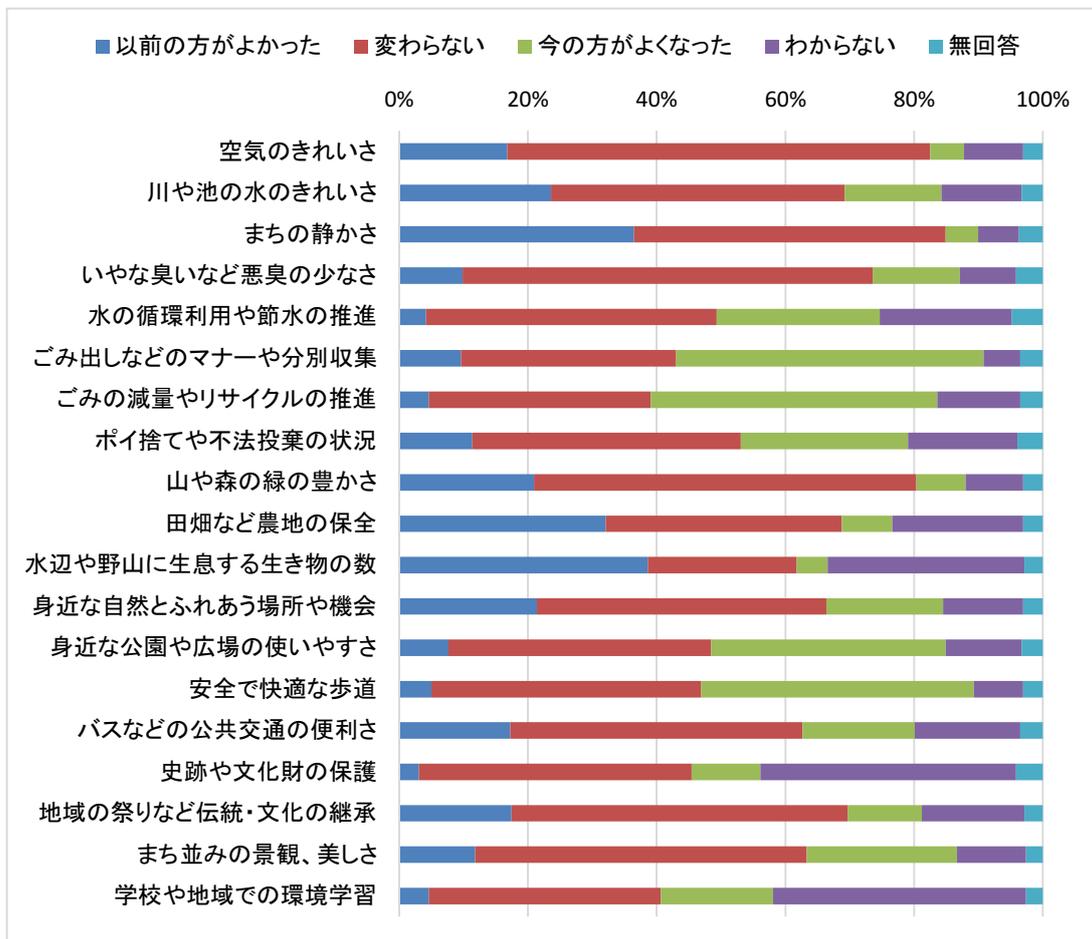


問1 あなたの住んでいる地域の環境の変化についてどのように感じていますか。
次の項目のあてはまる欄の数字に○をつけてください。

- 1 以前の方がよかった 2 変わらない
3 今の方がよくなった 4 わからない

本市の環境の変化について、「ごみの減量やリサイクルの推進」「ごみ出しなどのマナーや分別収集」「安全で快適な歩道」「身近な公園や広場の使いやすさ」については、今の方がよくなったと改善度が高く評価されています。

一方、「水辺や野山に生息する生き物の数」「田畑など農地の保全」「まちの静かさ」など自然や景観、一部生活環境のマナーなどに関しては、以前の方がよかったとする評価が多くなっています。



N=458

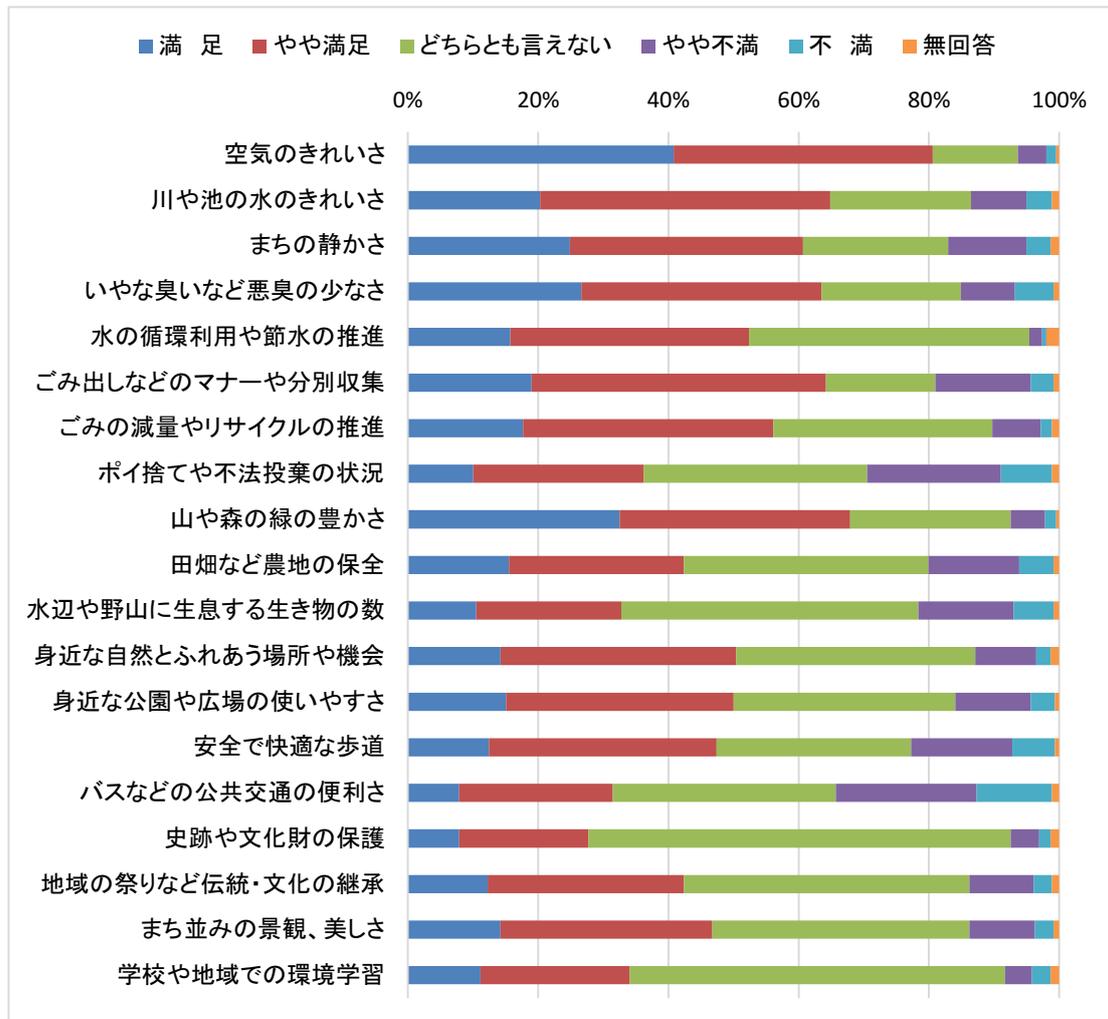
問2 あなたの住んでいる地域の環境の満足度についてお聞かせください。

次の項目のあてはまる欄の数字に○をつけてください。

- 1 満足 2 やや満足 3 どちらとも言えない
4 やや不満 5 不満

本市の環境の満足度については、「空気のきれいさ」「山や森の緑の豊かさ」で満足度（「満足」と「やや満足」の合計）が高い評価となっています。次いで、「川や池の水のきれいさ」「いやな臭いなど悪臭の少なさ」のほか、改善度が高く評価されている「ごみの減量やリサイクルの推進」「ごみ出しなどのマナーや分別収集」も満足度は高く評価されています。

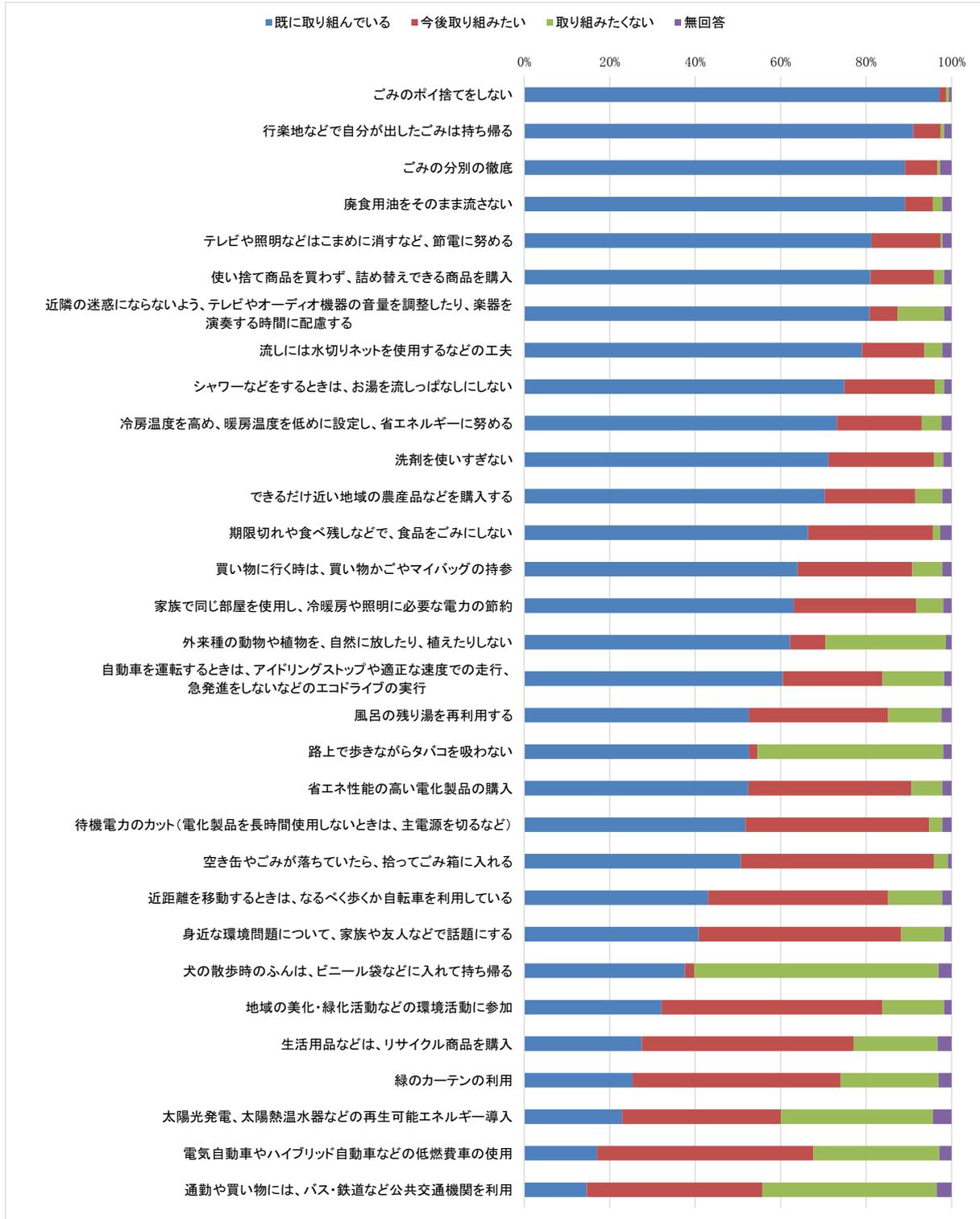
一方、「バスなどの公共交通の便利さ」「ポイ捨てや不法投棄の状況」については、満足度が低く評価されています。また、改善度が低く評価された「水辺や野山に生息する生き物の数」の満足度も比較的低い評価となっています。



N=458

問3 環境をよくするために、あなたが既に取り組んでいること、現在取り組んでいないが今後取り組みたいと考えていること、関係ないことについて、次の項目のあてはまる欄の数字に○をつけてください。

「既に取り組んでいる」の回答数降順に並び替え



N = 458

□ 問3のその他の取り組みの記入回答は、下記の通りです。

儉約と経済効率を上げること

何かあれば前向きに

環境保全の取り組みは、ごみの取り扱いや処理に関わる取り組みについて「既に取り組んでいる」とする回答が多く、実施度が高くなっています。次いで家庭での省エネルギーの取り組みが、高い実施度となっています。

「風呂の残り湯を再利用する」から下位の項目が「既に取り組んでいる」の回答率が50%程度以下となっています。

50%以下の項目の中でタバコやペットに関しては、タバコを吸わない人やペットを飼育していない人の「関係ない」の回答が多くなります。これらの項目に「今後取り組みたい」と回答した数%の人に早急に実践されることが望まれます。

その他の50%以下の項目にも、「今後取り組みたい」との回答が多く、今後の実践が期待されます。

前回調査と比較して、取り組みの実施度の項目の並び、ごみに関することに次いで、省エネルギーの取り組みなどが並ぶという傾向は、今回も同様でした。

しかし、全体的に実施率が高まっているように思われます。最下位の項目は、前回と同じく「公共交通機関の利用」でしたが、その実施率は、前回の6.7%に対して、今回は14.6%と2倍以上となっています。

また、前回調査では、34項目中、実施率40%以下の項目が18項目あったのに対して、今回は32項目中7項目と大幅に減少しています。

これらから、前環境基本計画の期間中において、市民の意識と実践が高まっていることを表す結果となっていると評価されます。さらに今後も実施度の向上が期待されます。

問4 あなたは、環境に関わるセミナーや保全活動などに参加してみたいと思いますか。
あてはまる項目のすべての番号に○をつけてください。

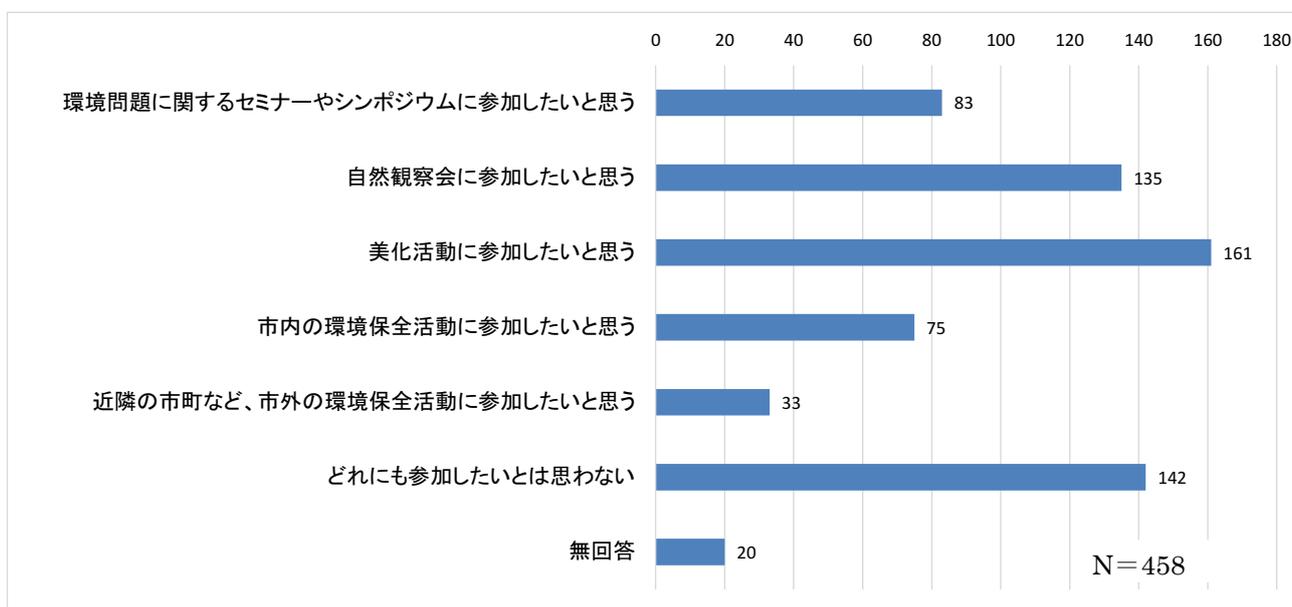
参加したい活動は、「美化活動」と「自然観察会」という目的が明確であり、身近な場所での環境貢献や、体験の中で環境を理解する学習や活動への参加が望まれていることがうかがわれます。

一方で、座学中心のセミナーやシンポジウム、市外の環境保全活動への参加意向は、比較的低い結果となっています。

「どれにも参加したいとは思わない」の31.0%の人にも、参加を促すきっかけとなるような活動や学習機会の創出が望まれます。

複数回答

環境問題に関するセミナーやシンポジウムに参加したいと思う	83	18.1%
自然観察会に参加したいと思う	135	29.5%
美化活動に参加したいと思う	161	35.2%
市内の環境保全活動に参加したいと思う	75	16.4%
近隣の市町など、市外の環境保全活動に参加したいと思う	33	7.2%
どれにも参加したいとは思わない	142	31.0%
無回答	20	4.4%

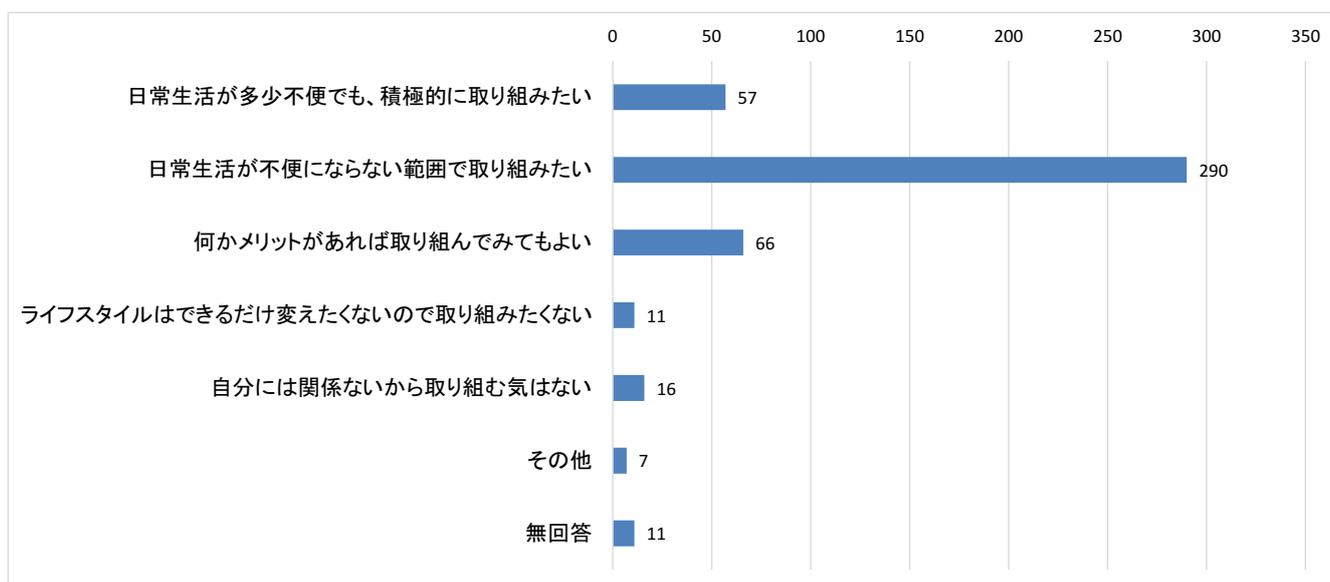


問5 あなたは、環境保全に向けた取り組みについてどのようにお考えですか。あてはまる項目の番号の1つに○をつけてください。

「日常生活が不便にならない範囲で取り組みたい」との回答が63.4%と大半を占める結果となっています。

環境に対する意識は高まっています。それぞれの状況に応じた環境保全活動の着実な実践を促していくことが求められます。

日常生活が多少不便でも、積極的に取り組みたい	57	12.4%
日常生活が不便にならない範囲で取り組みたい	290	63.4%
何かメリットがあれば取り組んでみてもよい	66	14.4%
ライフスタイルはできるだけ変えたくないので取り組みたくない	11	2.4%
自分には関係ないから取り組む気はない	16	3.5%
その他	7	1.5%
無回答	11	2.4%
合計	458	100.0%

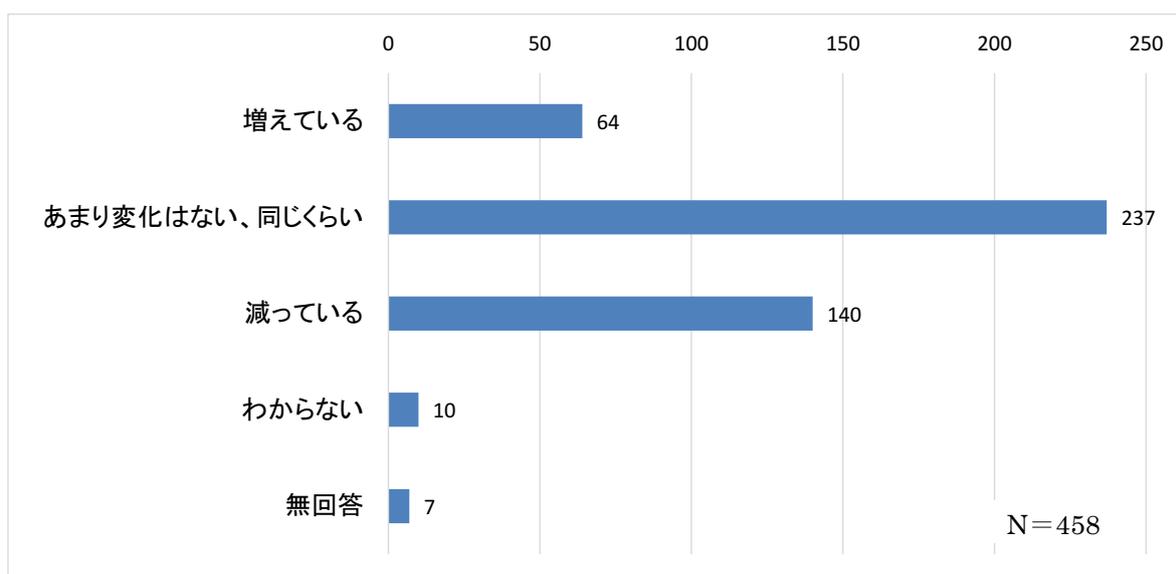


問6 あなたの家庭では、ここ数年でエネルギーの使用量（電気・ガス・燃料など）が変化していますか。あてはまる項目を1つ選んで番号に○をつけてください。

「同じくらい」の回答が51.7%ありますが、「減っている」は、30.6%と「増えている」の14.0%の2倍以上の回答となっています。

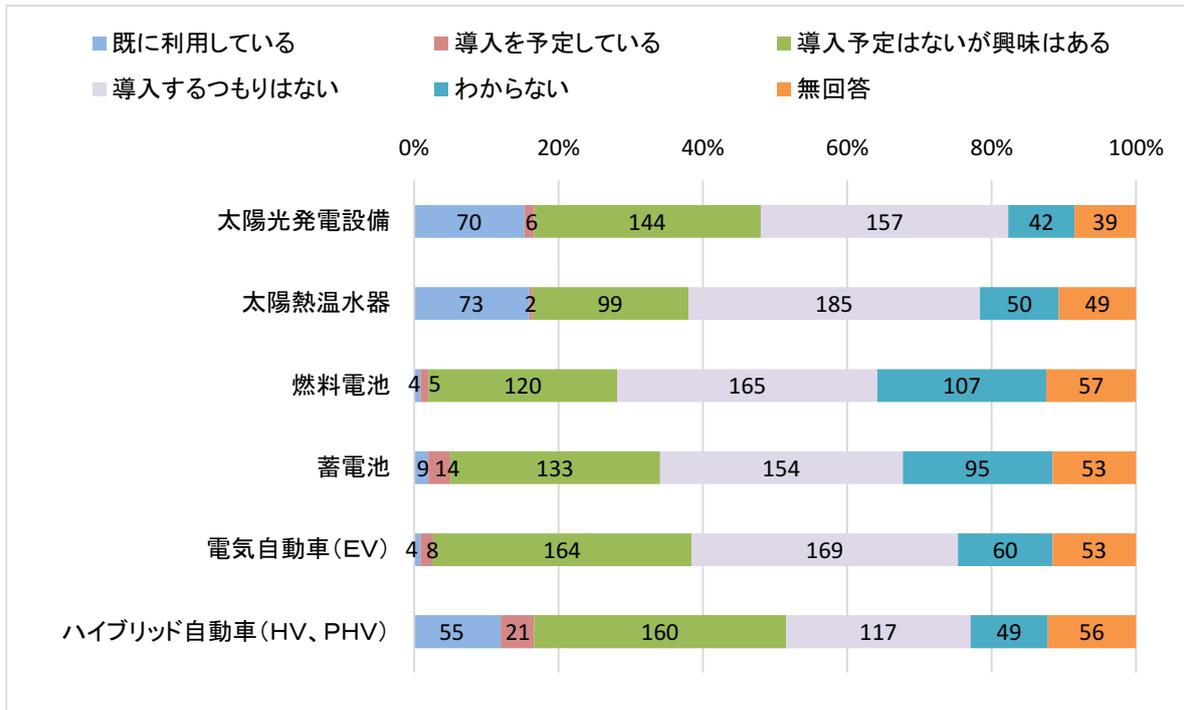
市民の省エネルギー行動の意識の高さと実践の結果が表れた回答となっています。

増えている	64	14.0%
あまり変化はない、同じくらい	237	51.7%
減っている	140	30.6%
わからない	10	2.2%
無回答	7	1.5%
合計	458	100.0%



問7 あなたのご家庭では、再生可能エネルギーを利用する設備や省エネルギー機器を利用していますか。あてはまる項目の欄に○をつけてください。

それぞれに、導入数以上に、「導入を予定している」と「導入予定はないが興味はある」とする回答が多くあります。今後の普及が期待されます。



その他の回答

エコキュート	5
オール電化	3
電球のLED	2
ガス給湯器フルオート	1
まきストーブ	1
エネファーム	1

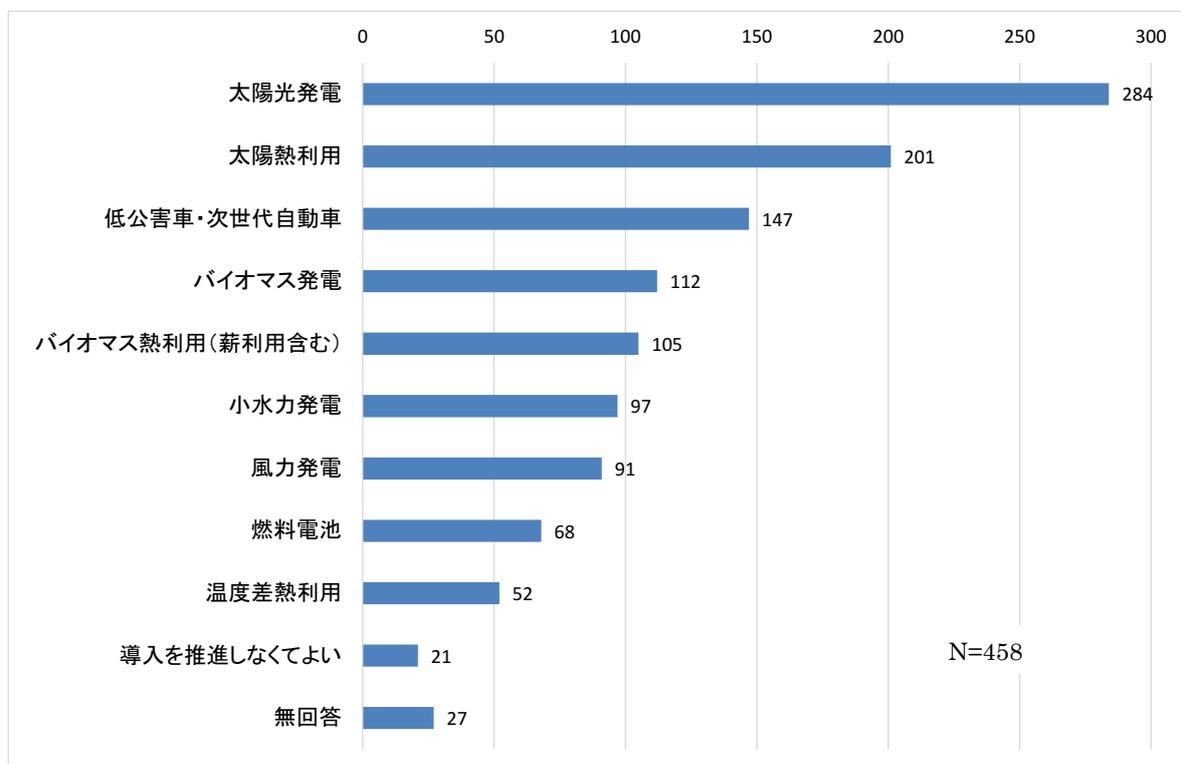
問8 東温市で導入を推進すべき再生可能エネルギーなどの設備はどれだと思いますか。
あてはまる項目の番号の欄すべてに○をつけてください。

「太陽光発電」が284件(62.0%)と最も多く、次いで「太陽熱利用」「低公害車・次世代自動車」「バイオマス発電」「バイオマス熱利用(薪利用含む)」という回答になっています。

「導入をしなくてよい」とする回答も4.6%あります。

複数回答・回答数降順並び替え

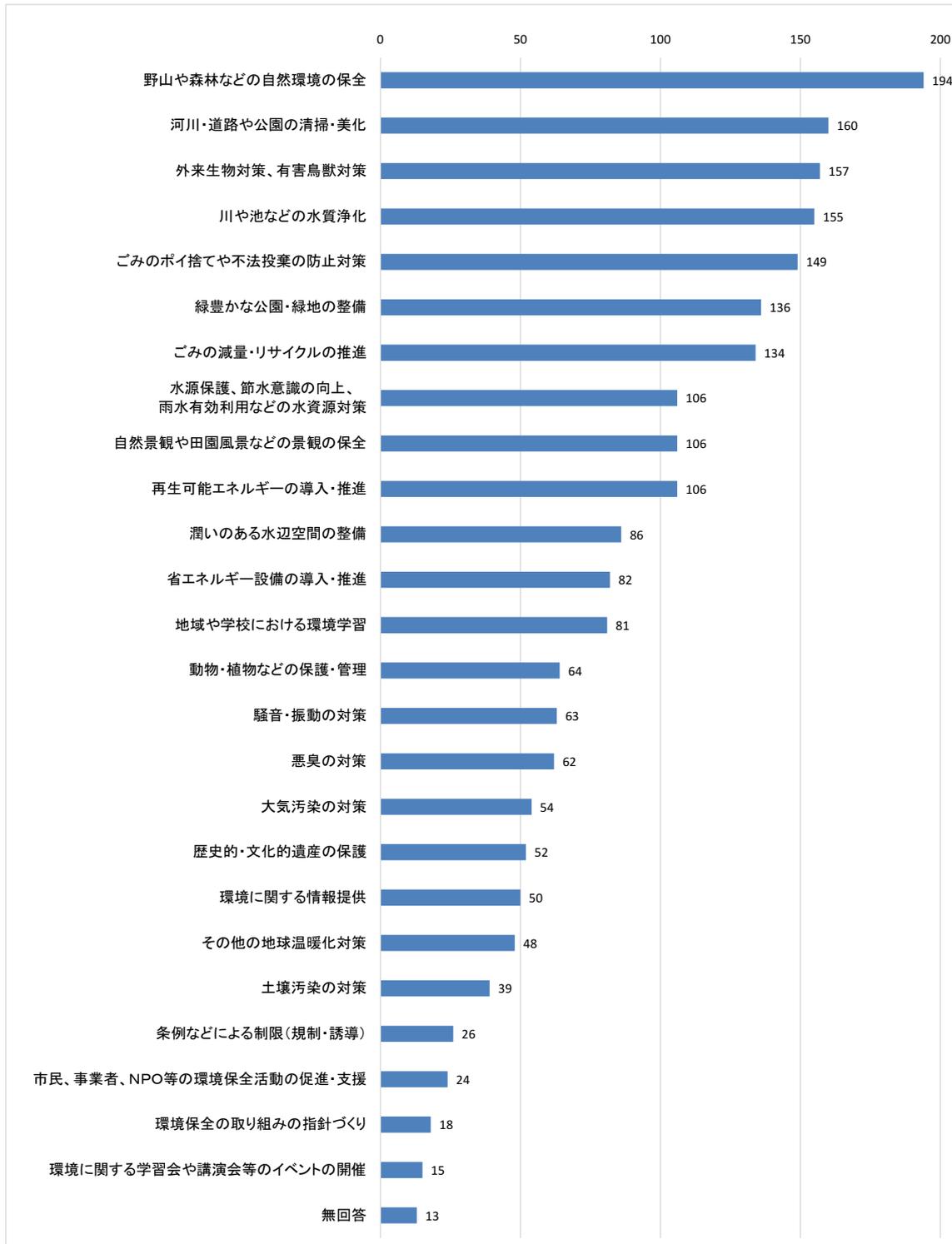
太陽光発電	284	62.0%
太陽熱利用	201	43.9%
低公害車・次世代自動車	147	32.1%
バイオマス発電	112	24.5%
バイオマス熱利用(薪利用含む)	105	22.9%
小水力発電	97	21.2%
風力発電	91	19.9%
燃料電池	68	14.8%
温度差熱利用	52	11.4%
導入を推進しなくてよい	21	4.6%



問9 より良い環境づくりを進めるために、東温市は今後どのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。5つを選んで番号に○をつけてください。

「野山や森林などの自然環境の保全」が194件（42.4%）と最も多く、次いで「河川・道路や公園の清掃・美化」「外来生物対策・有害鳥獣対策」「川や池の水質浄化」があがっています。「環境に関する学習会や講演会等のイベントの開催」は、15件（3.3%）と最も少ない回答となっています。

複数回答・回答数降順並び替え

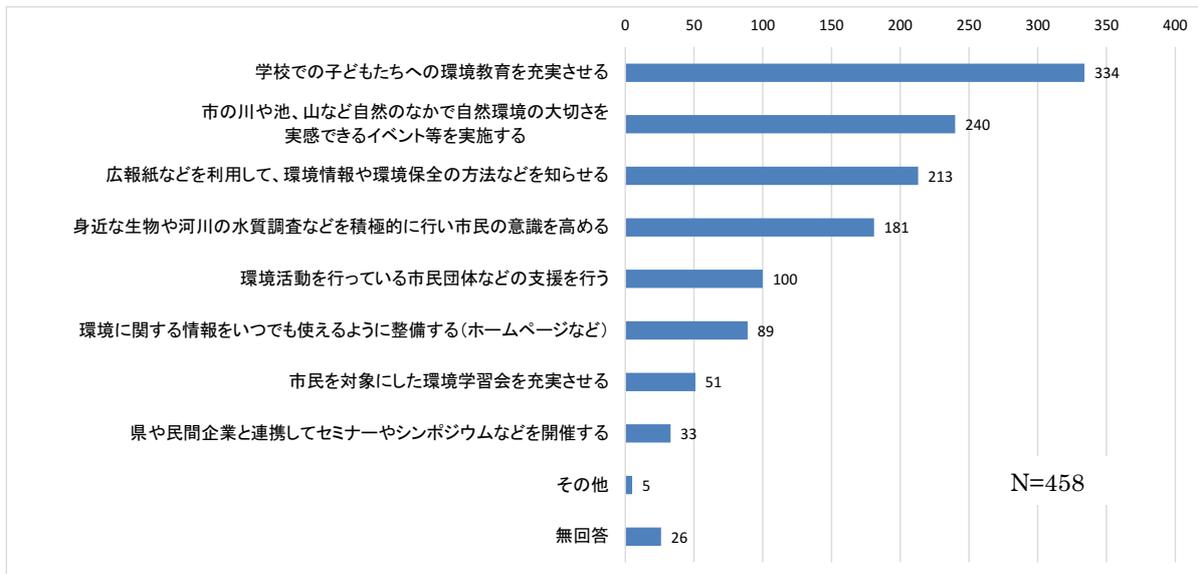


問10 環境教育や環境学習について、東温市はどのように進めて行けばよいと思いますか。
次の項目から3つを選んで番号に○をつけてください。

「子どもたちへの環境教育」が334件（72.9%）と要望が高い回答となっています。次いで「自然環境のなかでのイベント」があがっています。

複数回答・回答数降順並び替え

学校での子どもたちへの環境教育を充実させる	334	72.9%
市の川や池、山など自然のなかで自然環境の大切さを実感できるイベント等を実施する	240	52.4%
広報紙などを利用して、環境情報や環境保全の方法などを知らせる	213	46.5%
身近な生物や河川の水質調査などを積極的に行い市民の意識を高める	181	39.5%
環境活動を行っている市民団体などの支援を行う	100	21.8%
環境に関する情報をいつでも使えるように整備する（HPなど）	89	19.4%
市民を対象にした環境学習会を充実させる	51	11.1%
県や民間企業と連携してセミナーやシンポジウムなどを開催する	33	7.2%
その他	5	1.1%
無回答	26	5.7%



その他の回答

ごみマナーの悪い人への直接指導
学校、市単位で他県との交流・学びあいを積極的に行う。そのための予算必要
業者の騒音、ほこり、道路汚す、美観（住民にストレス）
河川ごみの撤去
地球規模で考えた環境保全の伝達。一人ひとりが守るべき
キャンプ場
クラブ活動等に取り入れる
家庭学習、人任せにしないで親子で話す

問 11 将来の市の環境は、どうなっていたら良いと思いますか。あなたが住み続けたいと思う「東温市のイメージ」を言葉で表してください。簡単なキーワードでも、短い文章でもかまいません。自由に記入してください。

※一部抜粋

自然 緑
美しい緑のある町
穏やかな自然環境
自然あふれる公園、綺麗な景色
自然が豊かな市、緑が多い市
自然との共生
少しでも自然を残してほしい
安全・安心 子ども 高齢者 やさしい
あたたかくて住みやすい環境
安全安心な道路環境
子育てしやすい環境だと思う。これが続けばよい
子供たちが安心してのびのび遊んだり勉強できる。
きれい 水 空気 景観 田園風景
おもいっきり深呼吸のできるまち
河川と水路でつながる東温市。美しい
川と山のきれいなまち
空気がきれいで市内の景観がきれい
さくらと水のある町
野山や田園風景などの景観
医療
医療や福祉が充実したまち
廃棄物 ごみ
家庭ごみの減少化・ポイ捨てのない環境づくり
ごみのない東温市
ポイ捨てのない清潔な町
今のまま変わらずに
今のまま壊さないでください。都会から来た友達が「緑が多いね」この一言です
今のままでいいのでは・・病院も田畑もあり
交通 都市整備 まちづくり
公共交通の充実
交通の便がよく閑静な住宅街

問 12 あなたがずっと大切にしたい、東温市に残しておきたいと思う場所や施設、風景、伝統行事などを3つ教えてください。

秋祭り 地域の祭り	147	神社 仏閣	15
田園 景観 山並み	74	亥の子	11
白猪の滝 白糸の滝	63	ツインドーム	10
重信川	47	塩ヶ森	9
風穴	45	滑川溪谷	9
皿ヶ嶺	37	歴史的遺産・文化財	8
さくらの湯	32	利楽	7
観月祭	28	アクロス	6
坊っちゃん劇場	26	旧緑化センター	6
泉	18	どてカボチャカーニバル	5

※その他の回答 一部抜粋

白猪の滝、皿ヶ嶺、冬の石鎚山

石鎚山、皿ヶ嶺の山々が見える風景

棚田

獅子舞

神輿の鉢合わせ

井内の新米祭り

菜の花、コスモス祭り

歴史的遺産

運動公園（ハロウインの森）

利楽のコスモス畑

レトロな横河原駅

横河原線のレトロな駅（特に横河原駅）

山之内の千本桜

まち並みの景観・美しさ

見奈良から見える上林の風景

見奈良のコスモス畑・菜の花畑

平野部から見る上林～皿ヶ嶺の風景

桜三里の桜

桜の花（塩ヶ森、重信川）

コスモス畑 菜の花畑

旧緑化センターの桜並木

桜三里

桜並木

米や麦の田園風景

牛淵のお練り

神社でのジャズの夕べ

子供が安心して遊べる施設

東温市民大運動会

生物や植物が豊かな整備された森林

問 13 日ごろ身の回りの環境について感じていることや、東温市の環境行政に関するご意見、ご要望、環境を良くするためのアイデアなどがありましたら、自由にご記入ください。

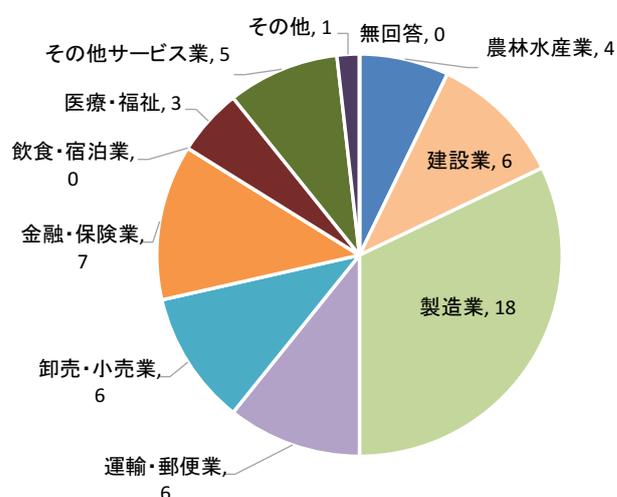
※いただいたご意見は、本計画における環境施策の策定に反映させるとともに、今後の事業推進の参考とさせていただきます。

2. 事業者アンケート

○属性

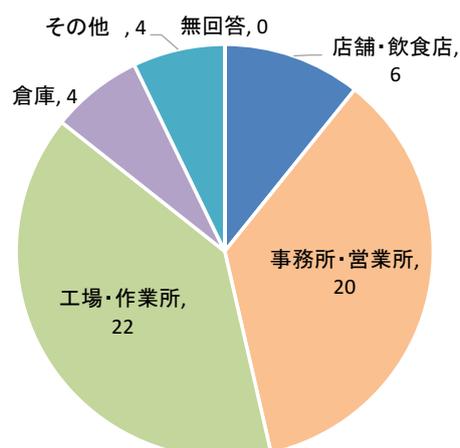
1 業種

農林水産業	4	7.2%
建設業	6	10.7%
製造業	18	32.1%
運輸・郵便業	6	10.7%
卸売・小売業	6	10.7%
金融・保険業	7	12.5%
飲食・宿泊業	0	0.0%
医療・福祉	3	5.4%
その他サービス業	5	8.9%
その他	1	1.8%
無回答	0	0.0%
合計	56	100.0%



2 業務形態

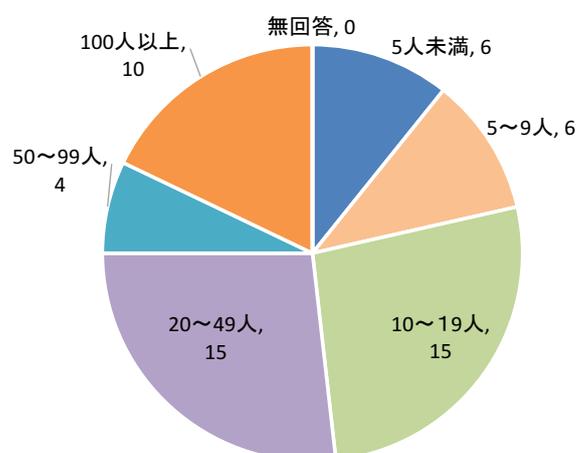
店舗・飲食店	6	10.7%
事務所・営業所	20	35.8%
工場・作業所	22	39.3%
倉庫	4	7.1%
その他	4	7.1%
無回答	0	0.0%
合計	56	100.0%



その他：産業廃棄物処理業、商業施設
温泉施設管理、ゴルフ場

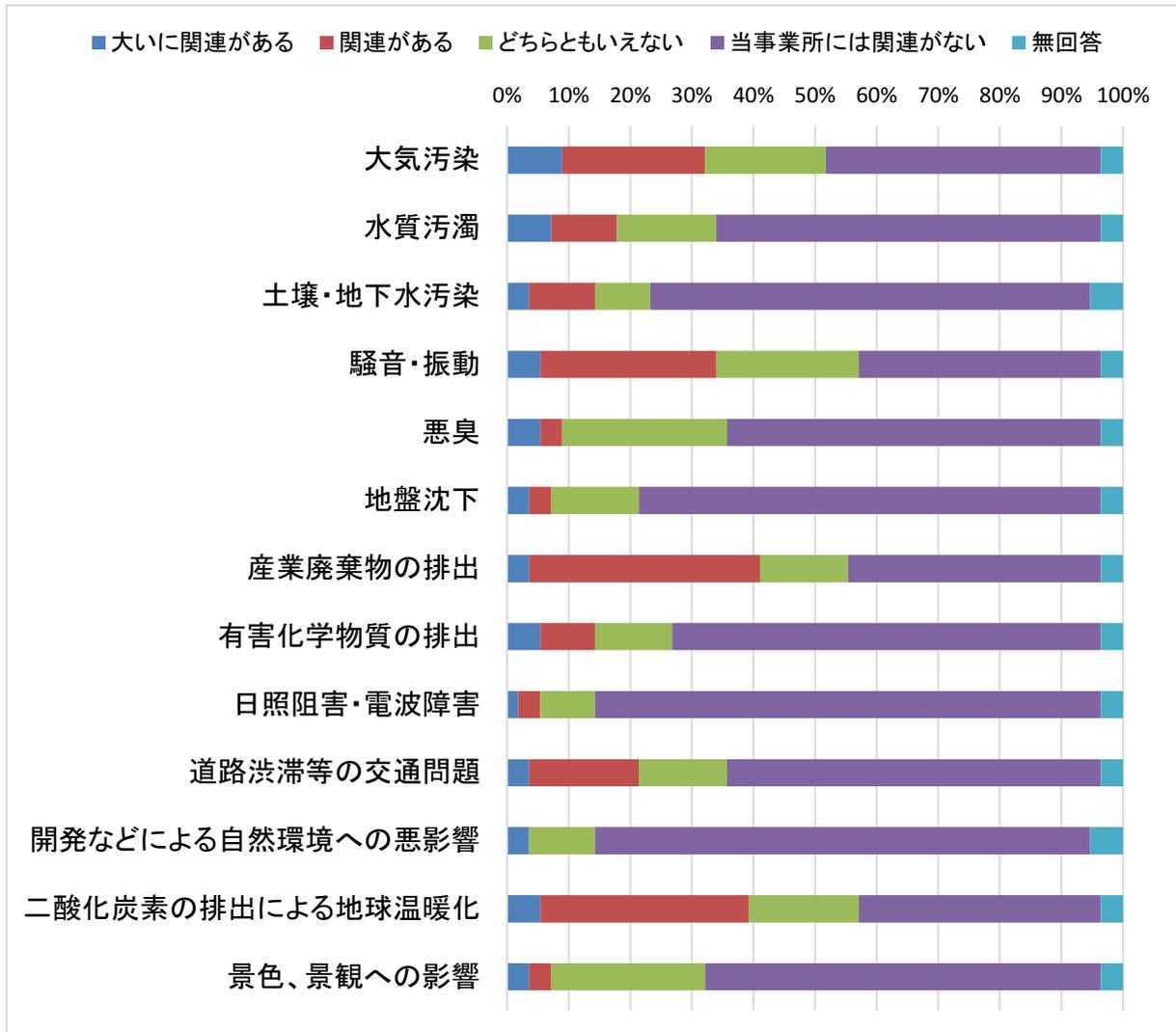
3 従業員数

5人未満	6	10.7%
5～9人	6	10.7%
10～19人	15	26.8%
20～49人	15	26.8%
50～99人	4	7.1%
100人以上	10	17.9%
無回答	0	0.0%
合計	56	100.0%



問1 貴事業所の事業活動（製造、販売、使用、廃棄など）と、次の環境問題と関連していると思いますか。

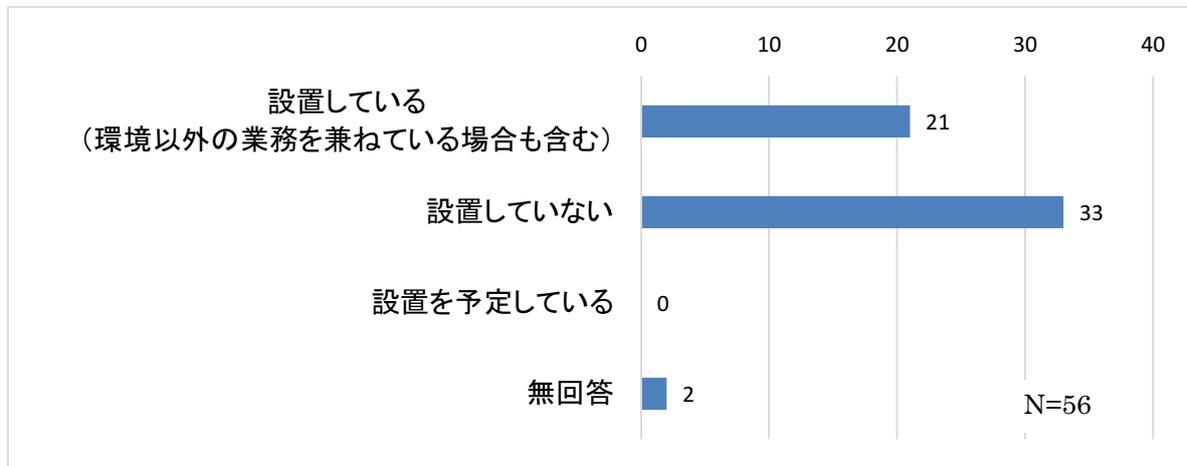
事業活動が「産業廃棄物の排出」に関連するという回答が41%と最も多く、次いで「二酸化炭素の排出による地球温暖化」が39%の回答です。前回調査では、「二酸化炭素の排出による地球温暖化」は上位4位であったことから、事業者の地球温暖化に対する認識が高まったことがうかがえます。



N=56

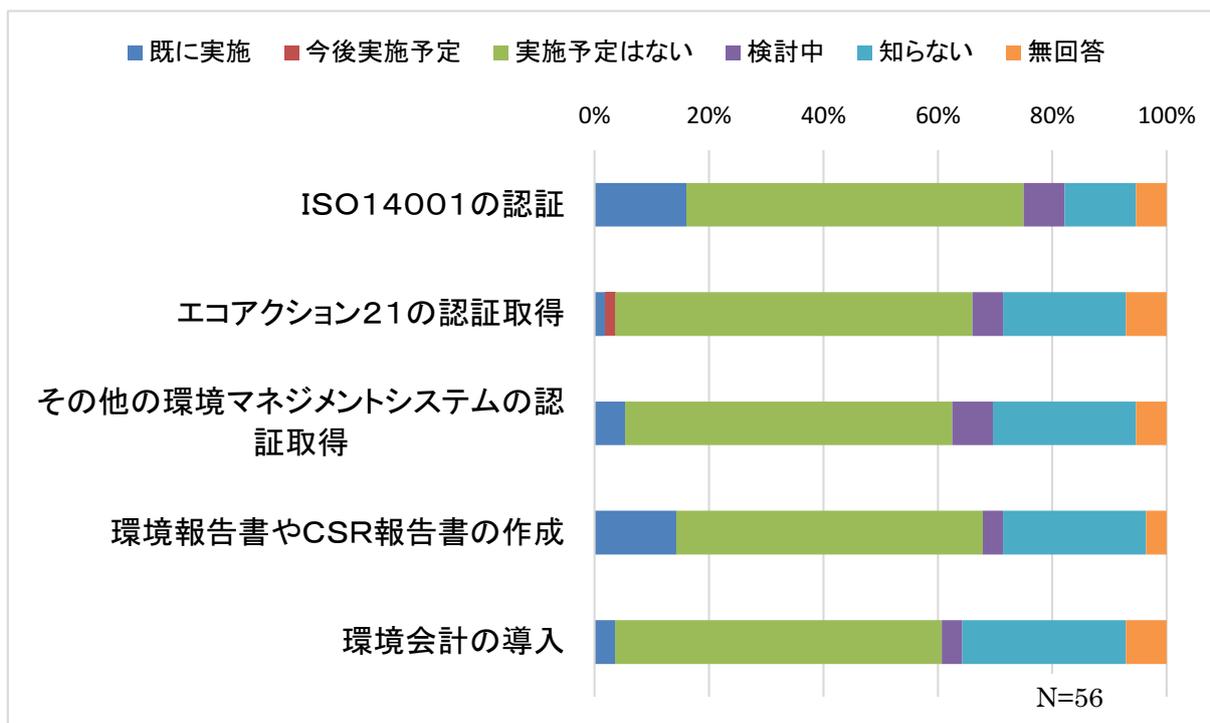
問2 貴事業所では、環境関連の業務や作業を取り扱う部署を設置されていますか。

環境関連の部署を設置している事業所が21件(37.5%)、今後設置を予定している事業所は0件となっています。



問3 貴事業所では環境に配慮した経営管理手法の導入について、各項目のあてはまる番号に○をつけてください。

ISO14001、エコアクション21、またその他の環境マネジメントシステムの認証を取得している事業所は計13件(23.2%)あります。今後、取得予定の事業所はエコアクション21の1件(1.7%)です。ISO14001以外では、「知らない」とする回答が14~16件(25.0~28.6%)あります。

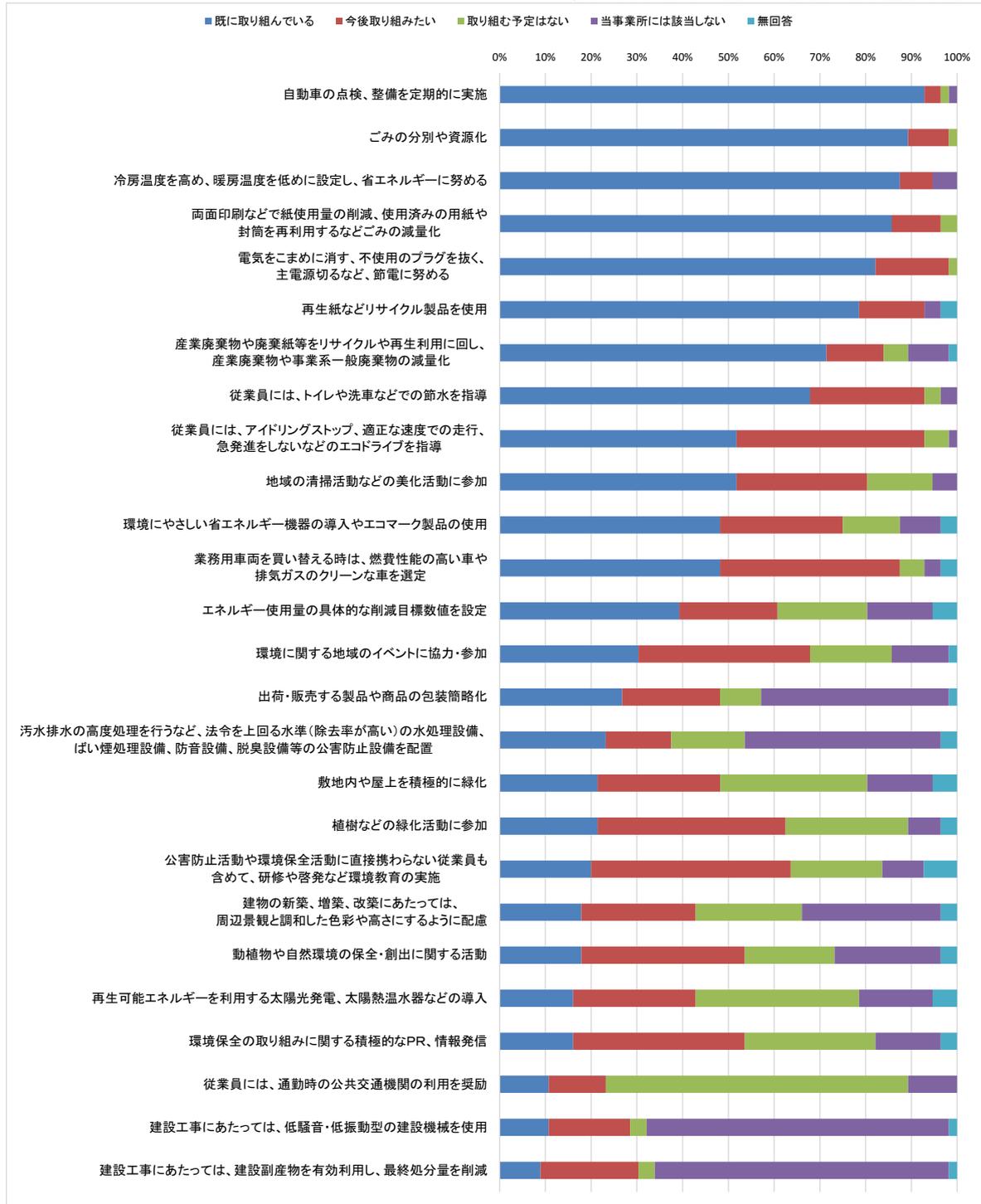


問4 次の環境保全に向けた行動に関して、貴事業所の現状や、今後のお考えについて各項目のあてはまる番号に○をつけてください。

「自動車の点検、整備」は90%以上が実施、「ごみの分別や資源化」や省エネルギーの取り組みは、80%以上が実施しています。省エネなど経費削減になるような取り組みは、実施率が高くなる傾向があります。

前回調査と比較して、内容が異なるため、項目毎の単純な比較はできませんが、全体的に「既に取り組んでいる」実施度のレベルが高くなっています。

「既に取り組んでいる」の回答数降順に並び替え

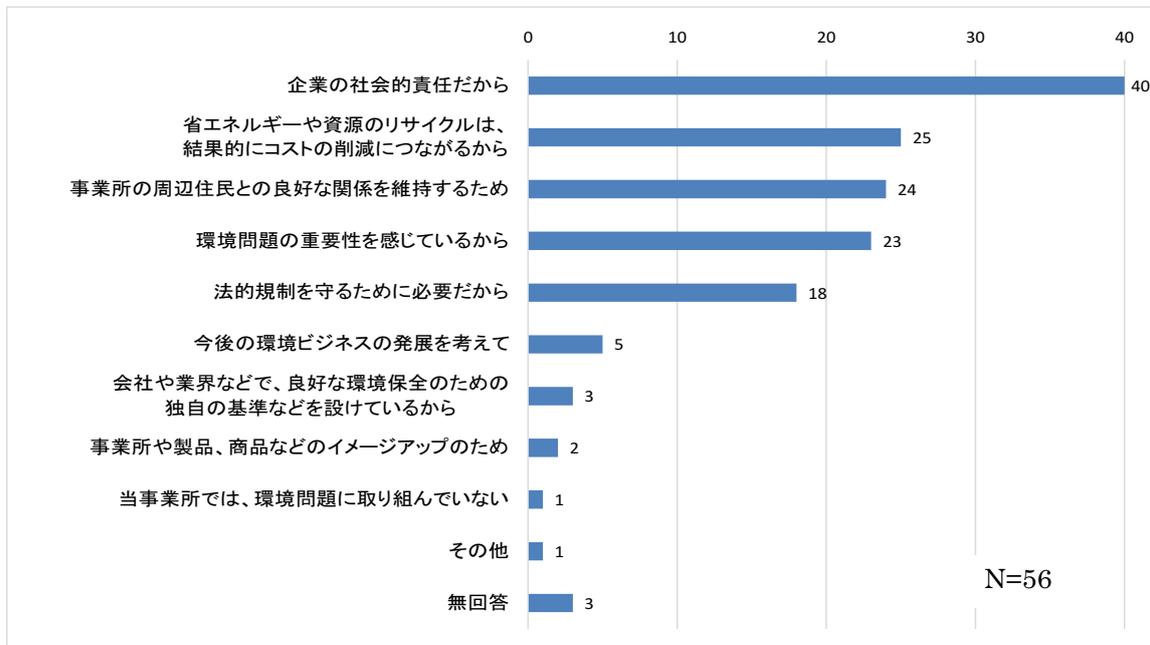


N=56

問5 貴事業所の環境保全への取り組みの理由について、次の項目から3つまで選んで○をつけてください。

環境対策に取り組む理由については、「企業の社会的責任」が40件（71.4%）と、大半の事業者が社会的責任を意識しています。「環境ビジネスの発展性」や「イメージアップ」の考えとは大きな差が表れています。

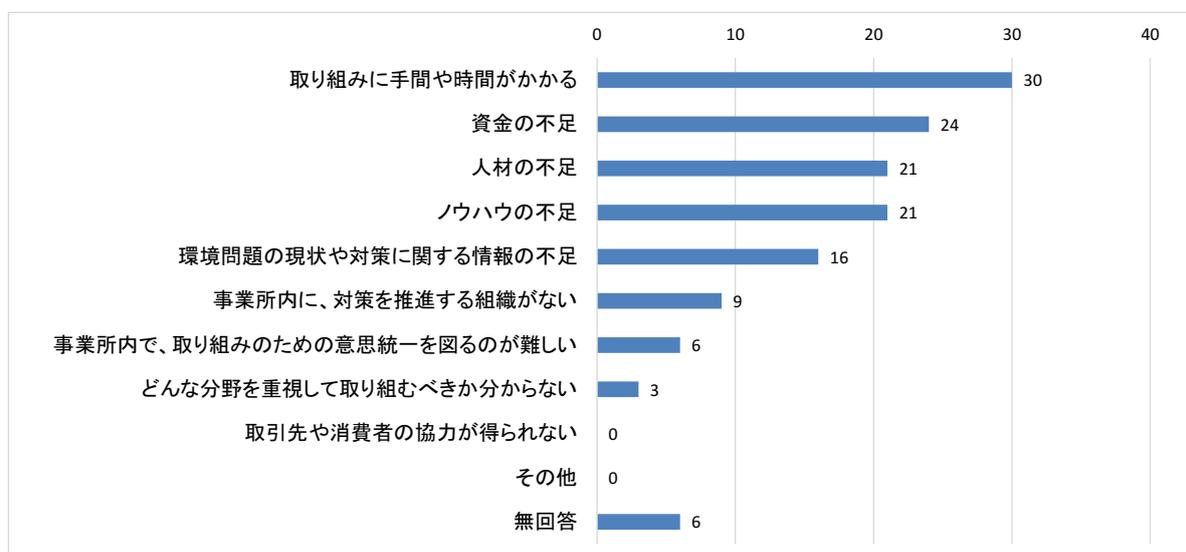
複数回答・回答降順並び替え



問6 環境保全に向けた取り組みを進める上での問題・課題で特に重要と思われることについて、次の項目から3つまで選んで○をつけてください。

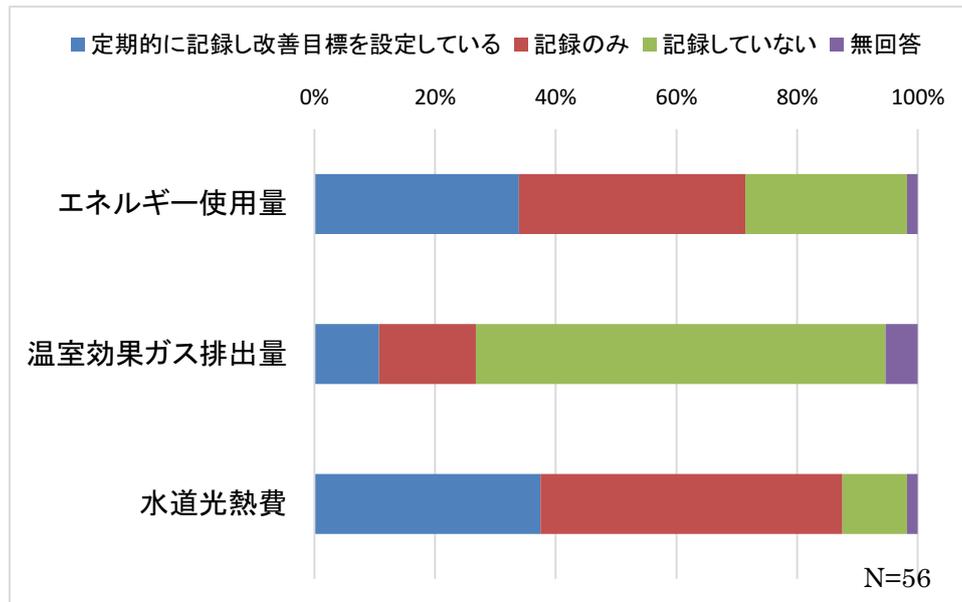
「取り組みに手間や時間がかかる」が30件（53.5%）と多い回答です。前回調査では、「費用」が高い回答率となっており、「手間」が逆転したかたちとなっています。「費用」以上に、「手間や時間」の負担感が大きいことがうかがえます。

複数回答・回答降順並び替え



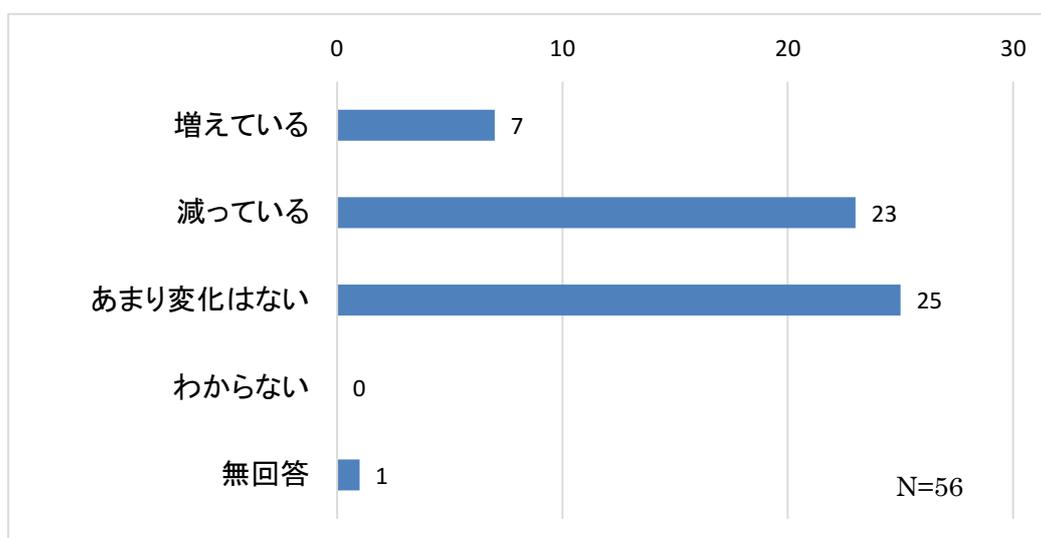
問7 貴事業所におけるエネルギー使用量、温室効果ガス排出量（CO₂のみでも可）、水道光熱費についてどのように把握していますか。

「エネルギー使用量」「水道光熱費」と比較して、経理上の記録が残らない「温室効果ガス排出量」の把握は少なく6件（10.7%）です。エネルギー使用量や水道光熱費について「記録していない」という回答は、「環境を意識して記録していない」と置き換えて理解します。



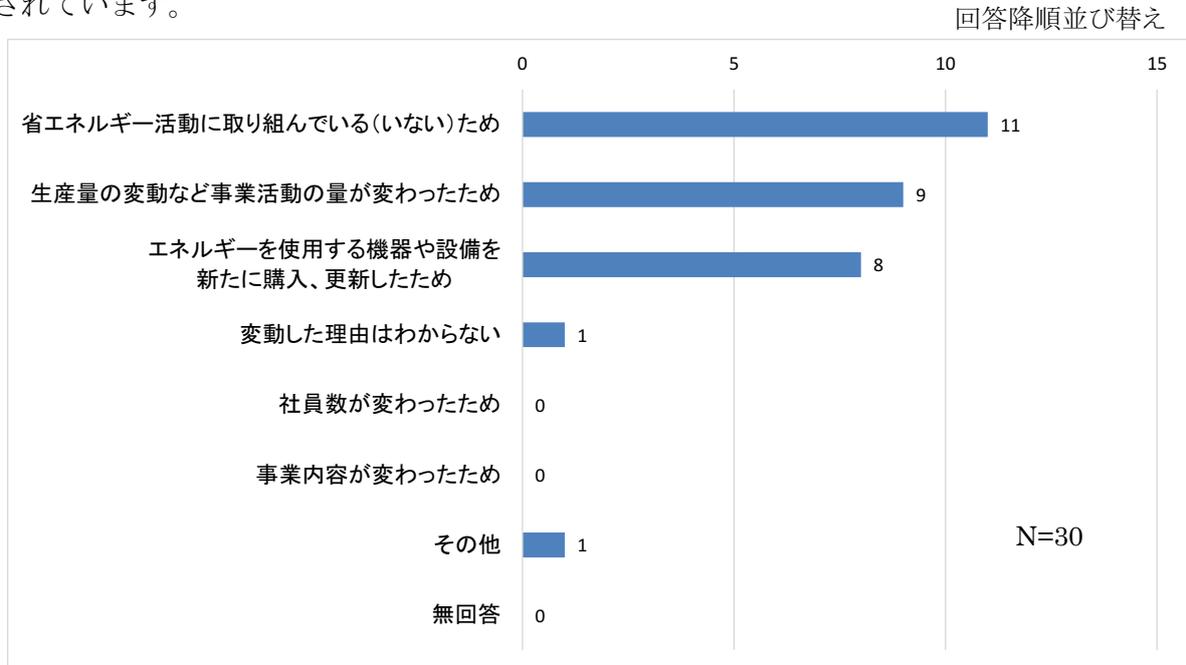
問8 貴事業所で消費するエネルギー（電力・ガス・灯油、自動車のガソリン等）の使用量は、ここ数年間で変化していますか。

エネルギー消費量は「増えている」の7件（12.5%）に対して、「減っている」が23件（41.0%）と多い回答となっています。



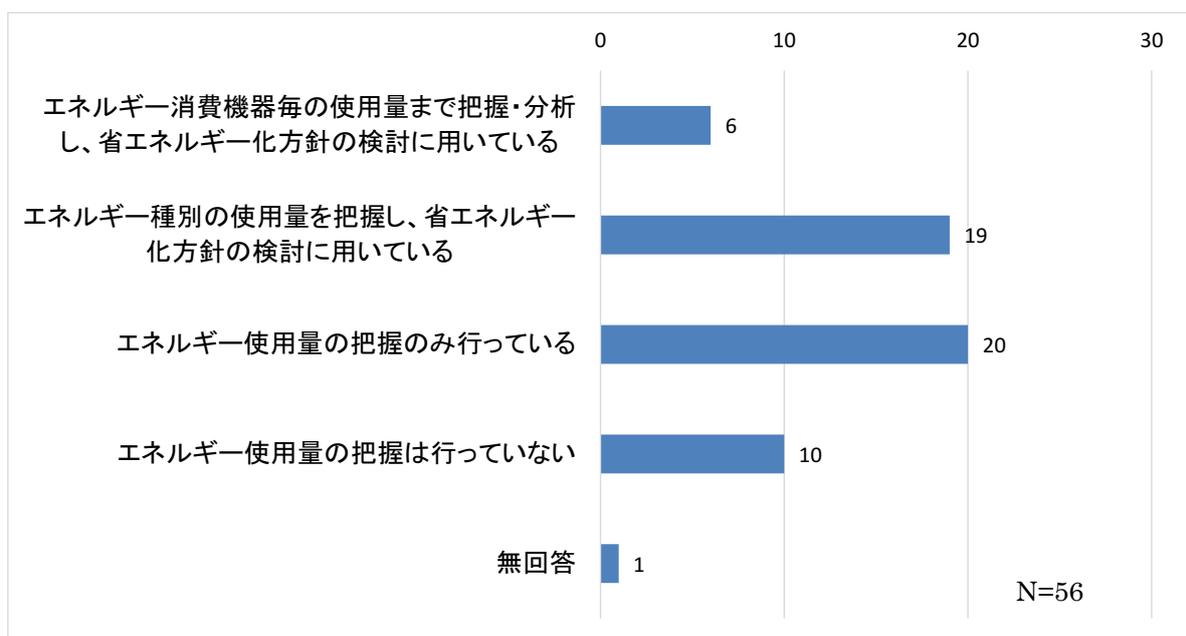
問9 問8で「1. 増えている」、「2. 減っている」と答えた方にお聞きします。変化の理由として思い当たることはありますか。

問8の変化の要因は、「省エネルギーに取り組んでいる(いない)」ことが大きいと認識されています。



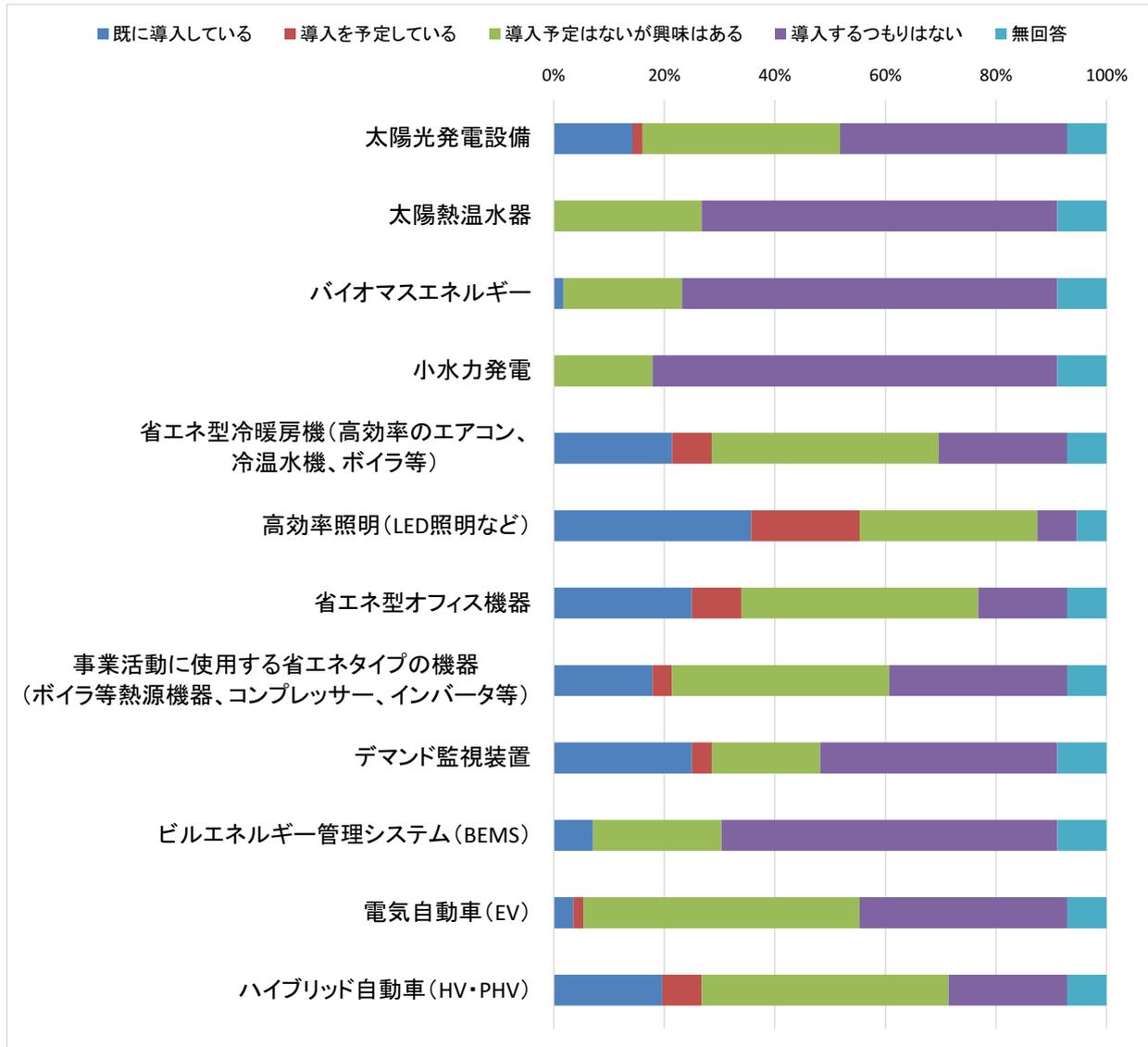
問10 貴事業所では把握したエネルギー使用量等をもとに省エネルギー化などの検討を行っていますか。

エネルギー機器毎、エネルギー種別の使用量を把握して「省エネルギー化の方針を検討している」とする回答は計 25 件 (44.6%) となっています。



問 11 貴事業所では、再生可能エネルギー、省エネルギー機器を利用していますか。

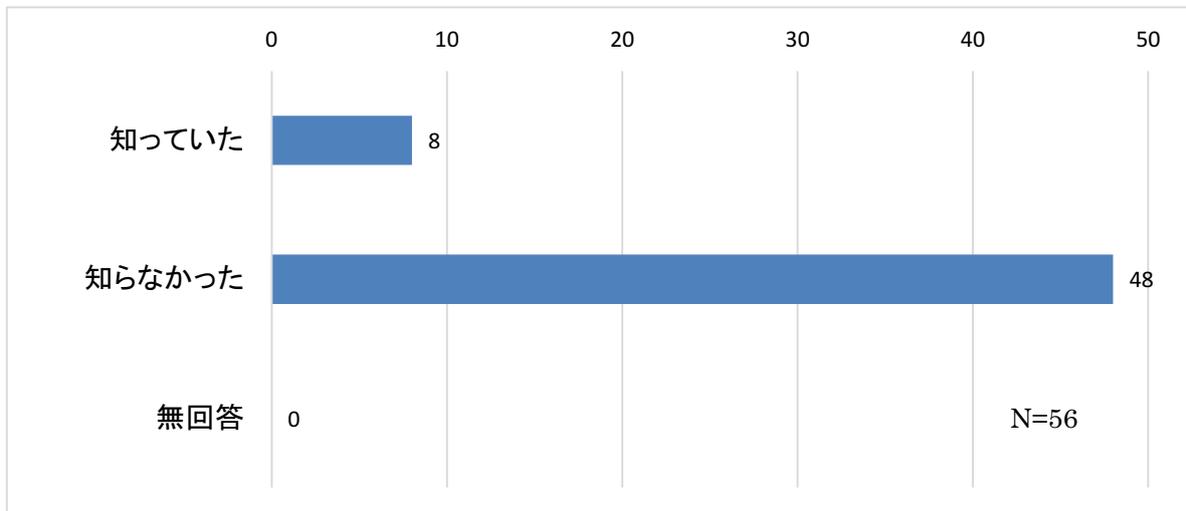
事業所では、省エネルギー機器の活用が多い回答となっています。特に「高効率照明（LED照明など）」は20件（35.7%）が導入済みであり、さらに導入予定も11件（19.6%）と多く、今後の普及が期待されます。



N=56

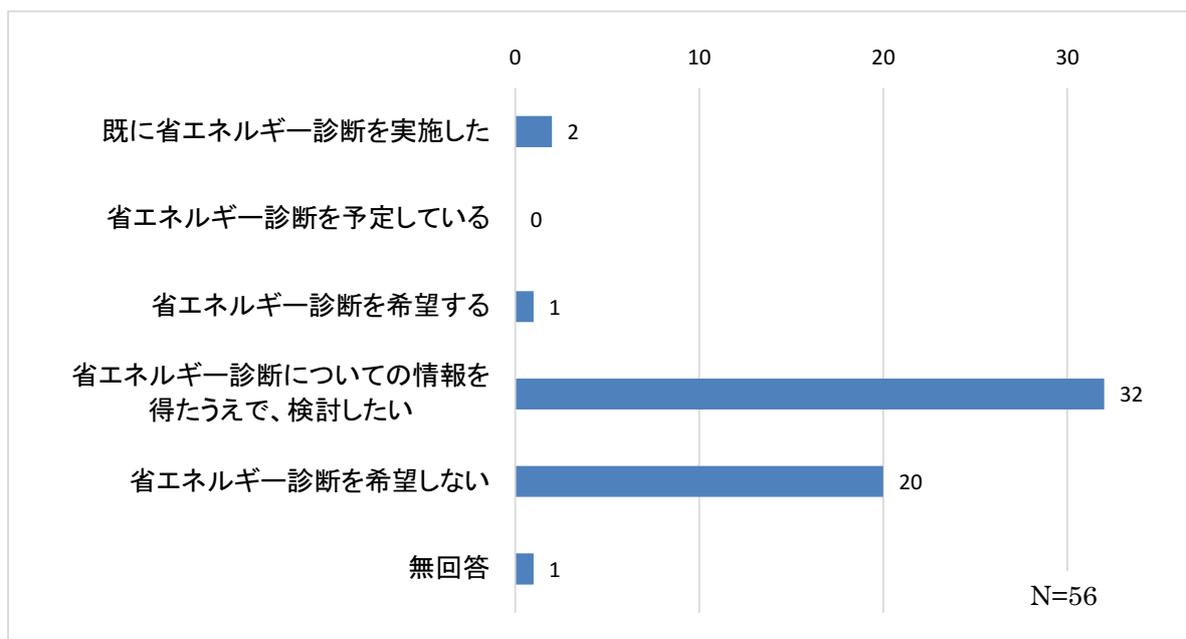
問 12 (財)省エネルギーセンターが実施している「無料省エネ診断サービス」をご存知ですか。

「知っている」はわずかに8件(14.2%)です。



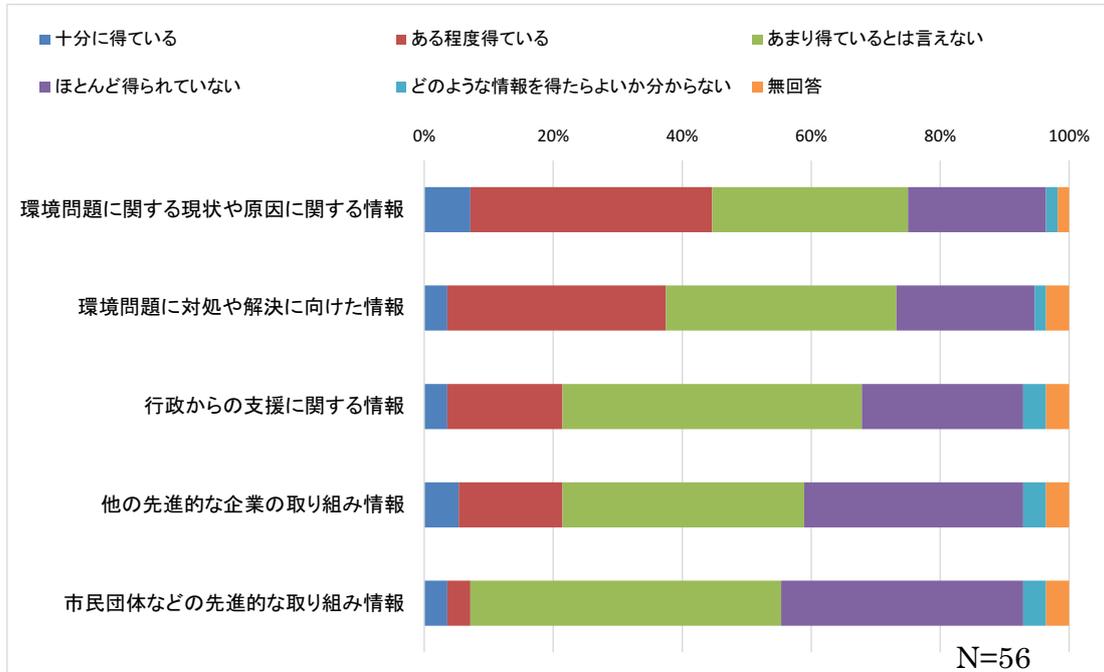
問 13 「無料省エネ診断サービス」を実施したいと思いますか。

「情報を得たうえで検討したい」が32件(57.1%)の回答となっています。
「診断を希望する」事業所は、わずかに1件(1.8%)のみです。



問 14 貴事業所では、環境保全等に関する情報を十分に得ていると思いますか。

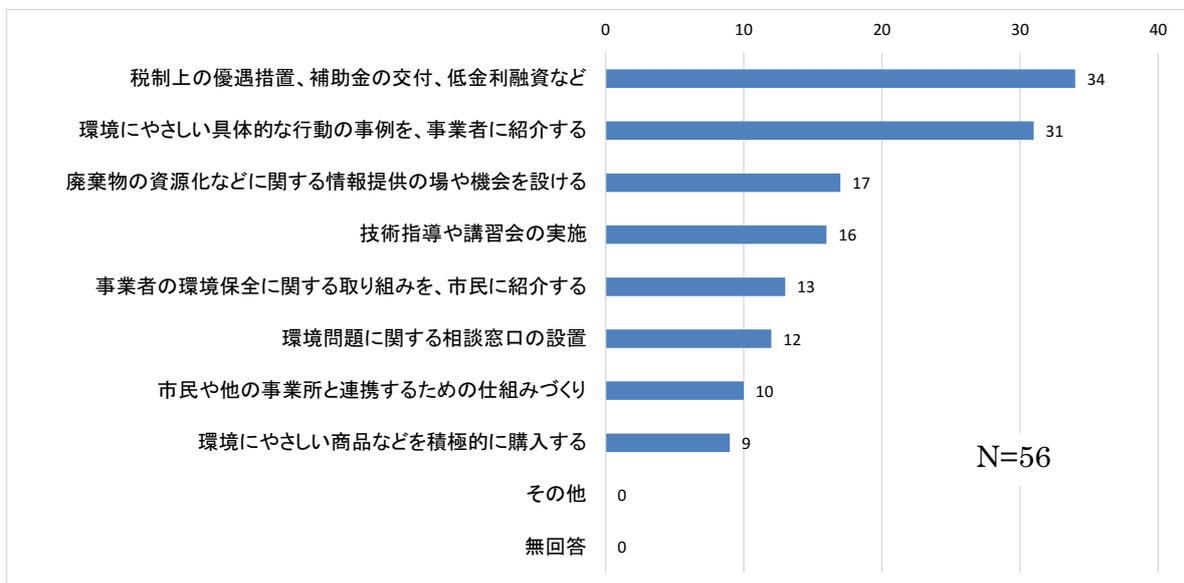
「環境問題に関する情報」は、40%前後の事業所が「得ている」と回答しています。
 「行政の支援情報」「先進的な企業の取り組み情報」は約 20%が「得ている」と回答しています。



問 15 環境保全に向けた取り組みを進める上で、東温市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

「税制上の優遇措置、補助金の交付、低金利融資など」が 34 件 (60.7%)、「環境にやさしい具体的な行動の事例を、事業者を紹介する」が 31 件 (55.4%) と、この 2 項目について半数以上の事業者が要望しています。

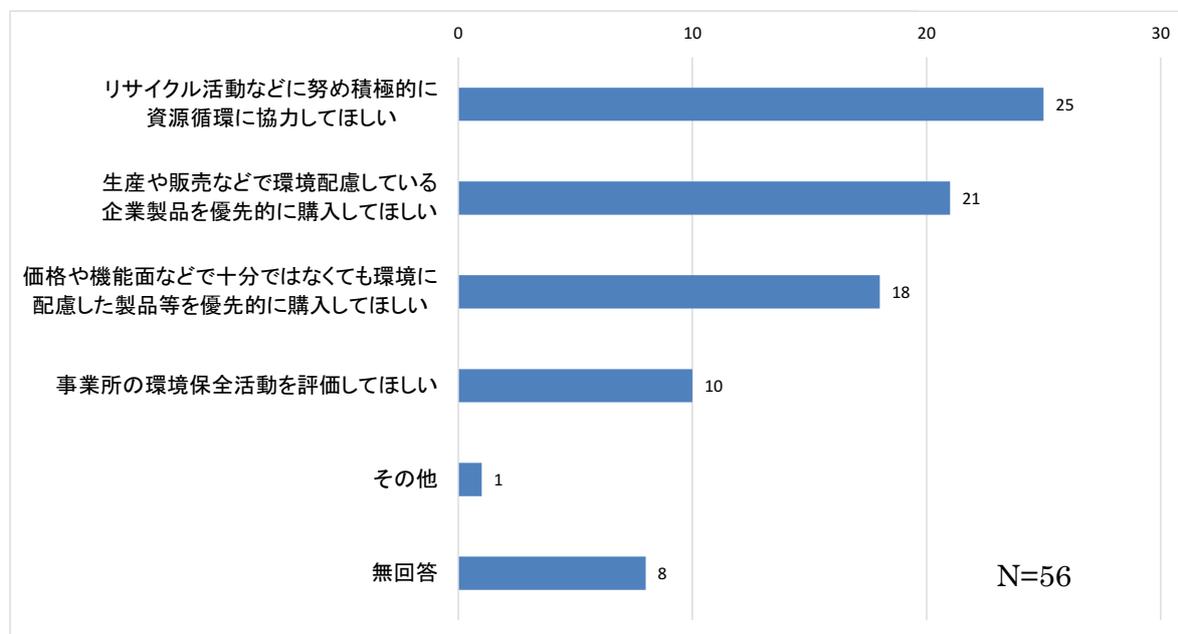
複数回答・回答降順並び替え



問 16 環境保全を進めるため、市民に協力を求めたいことはありますか。

市民には、環境に配慮している製品の選択以上に、「リサイクル活動、資源循環」への協力を求めている結果となっています。

複数回答・並び換え



問 17 このほか、環境全般について、ご意見・ご要望などがありましたら、自由に記入してください。

※いただいたご意見は、本計画における環境施策の策定に反映させるとともに、今後の事業推進の参考とさせていただきます。

3. 小・中学生アンケート

問1 学校名を書いてください。

小学校

上林	3	南吉井	111
拝志	13	北吉井	76
西谷	13	川上	81
—	—	東谷	8
合 計			305

中学校

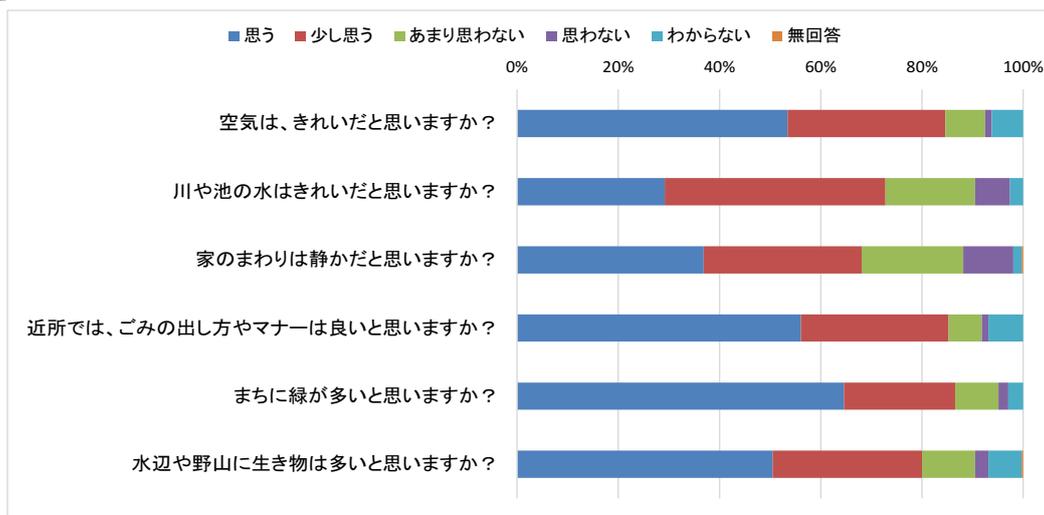
川内	99
重信	184
合 計	283

※問2以降、回答者数は、小学生305人、中学生283人の全員です。

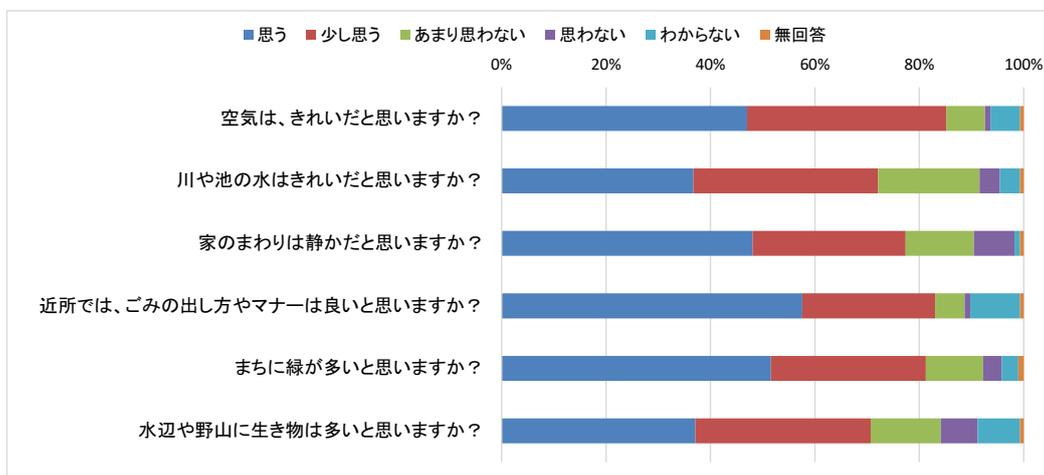
問2 あなたが住んでいるまちの環境についてどう思いますか。

小学生、中学生ともに同様の傾向がうかがえます。「川や池の水のきれいさ」「家のまわりの静かさ」「生き物の多さ」については、相対的に評価が低くなっています。

小学生



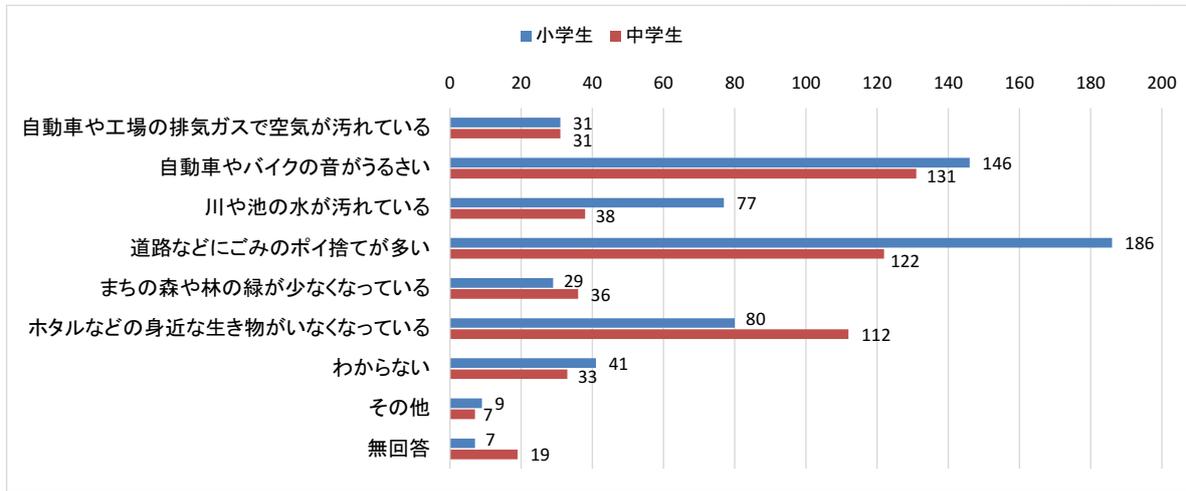
中学生



問3 あなたの家や学校のまわりで、気になっている環境問題はありますか。

小・中学生ともに、「ごみのポイ捨て」「自動車やバイクの音」が気になっているとする回答が多くなっています。

複数回答



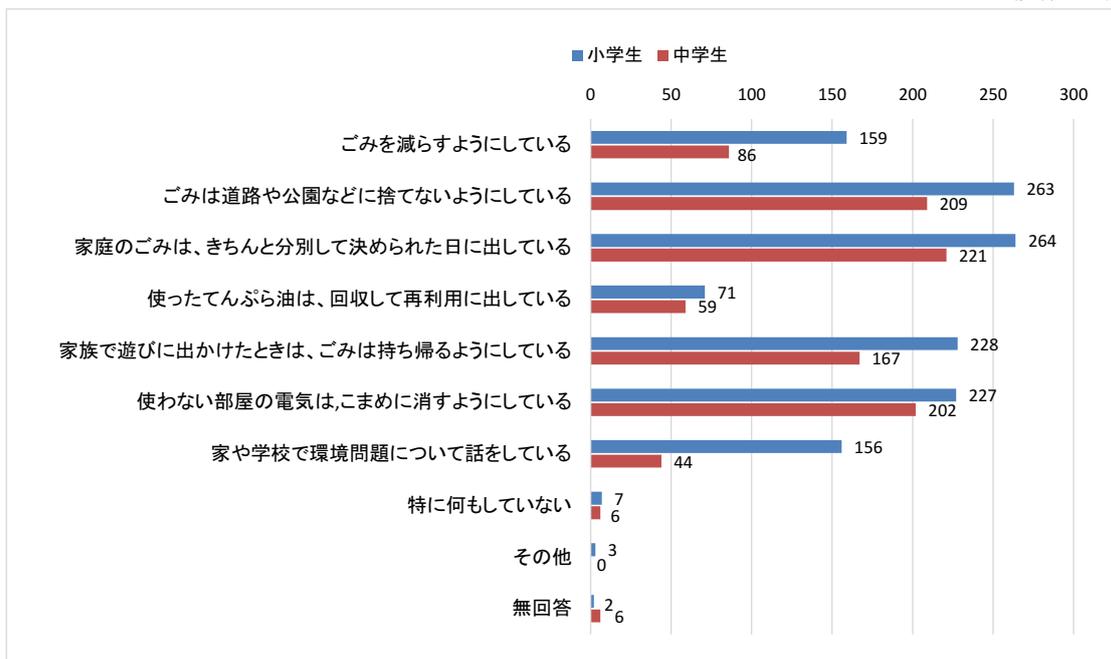
その他記入

工事音が非常にうるさい	電灯が暗い
ペットのふんが落ちている	あいさつが少ない
森にごみを捨てる人が多い	ポイ捨てがある

問4 あなたやあなたの家庭で環境に対して気をつけていることは何ですか。

家庭で取り組むてんぷら油の回収以外の自分たちで実行できることに対しては、気をつけているとする回答が多くあります。

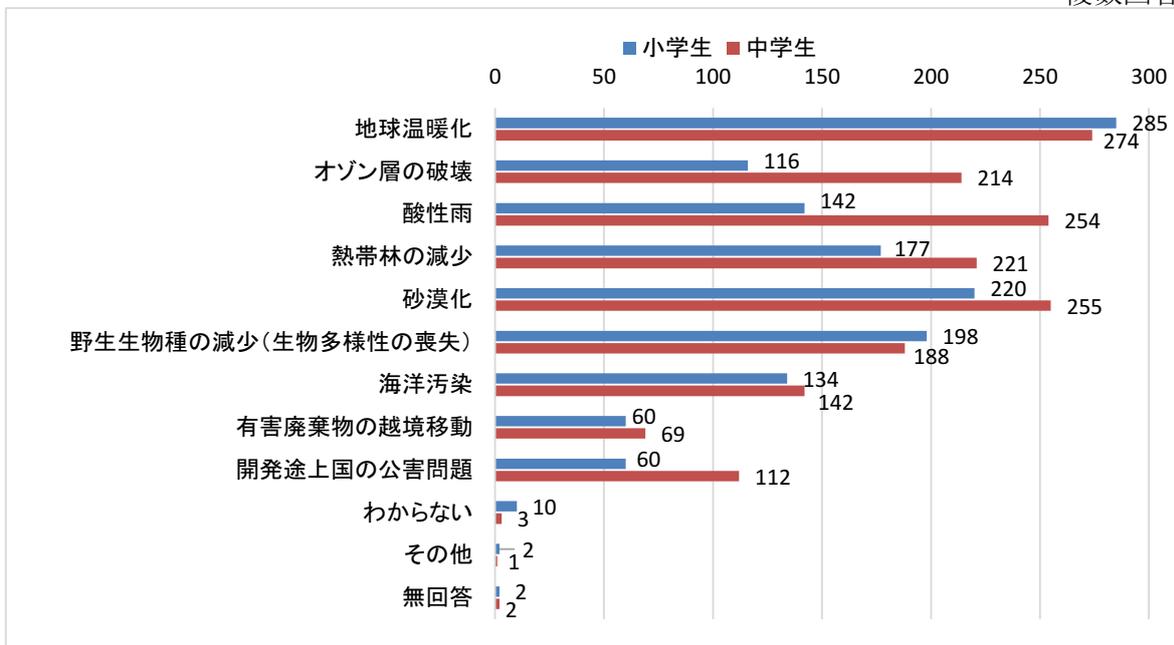
複数回答



問5 環境問題で、あなたが知っているもの、聞いたことがあるものをいくつでも選んで番号に○をつけてください。

すべての項目について、中学生の認識度が高くなっています。

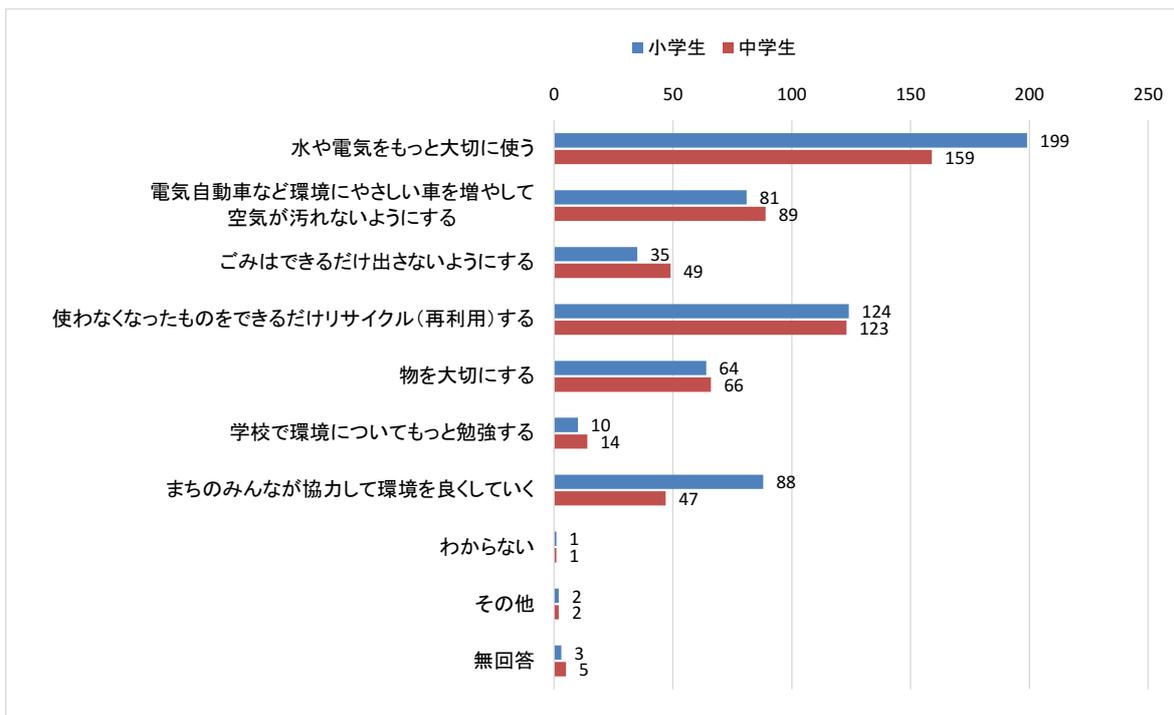
複数回答



問6 あなたは、地球環境を良くしていくために、どのようなことをしなければいけないと思いますか。

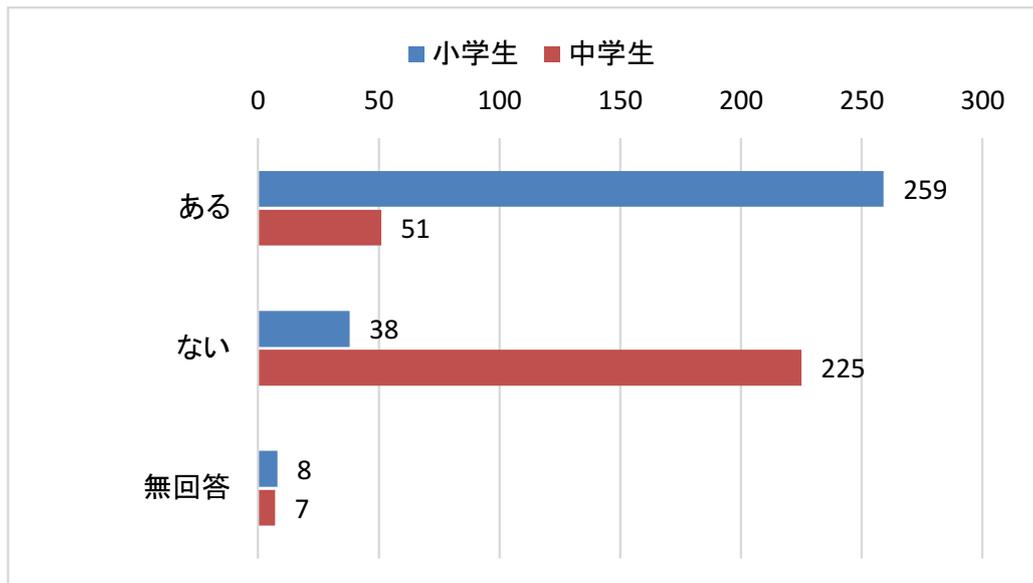
小中学生ともに「水や電気を大切に使う」「リサイクルする」の回答が多くなっています。

複数回答



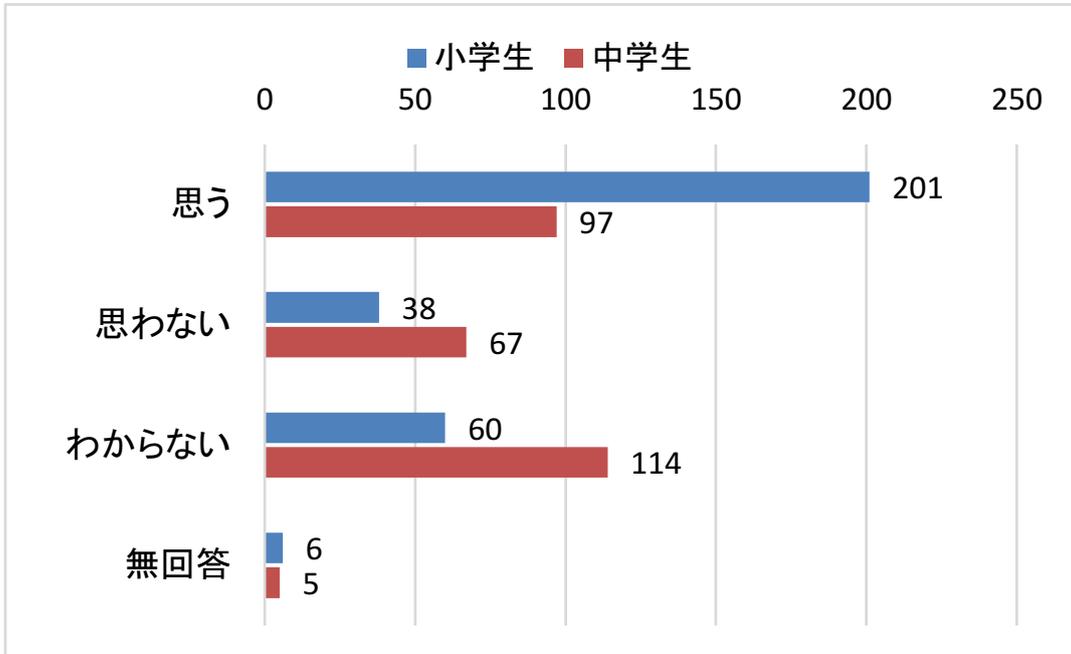
問7 あなたは、自然体験教室やとうおん子ども科学&環境会議などに参加したことがありますか。

参加経験は小学生の「ある」の回答が非常に多くなっています。中学生の回答には、「小学生の頃に」という記入回答がみられることから、小学生の時に比較して、中学校での環境学習の回数が少ないことなどが要因と考えられます。



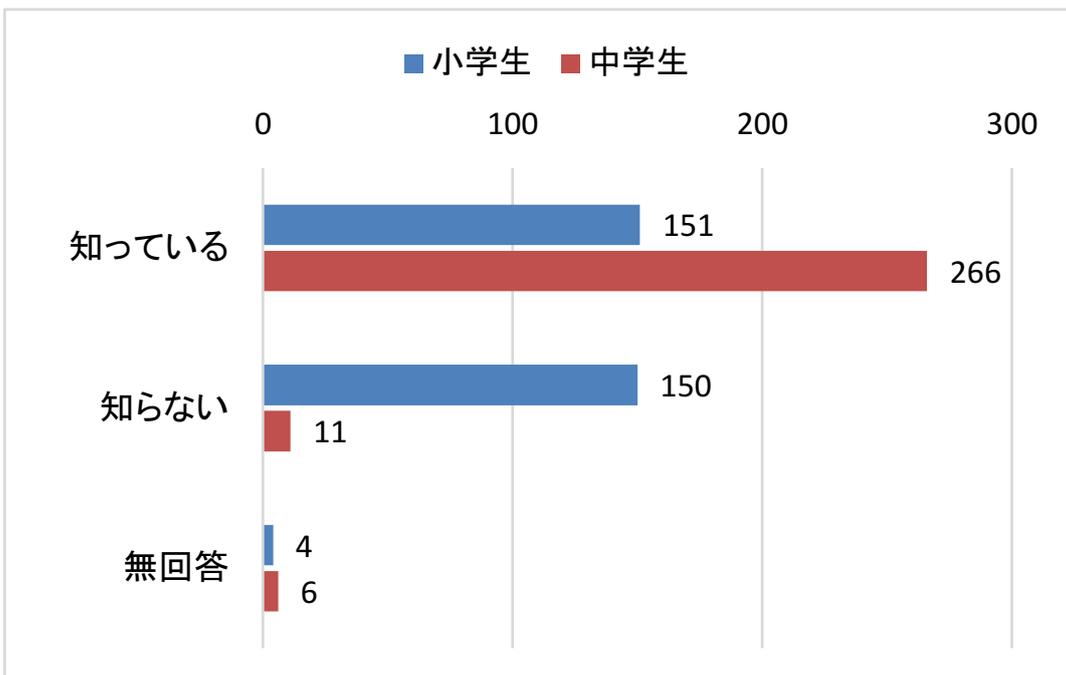
問8 あなたは、自由に参加できる自然体験教室などがあれば、参加してみたいと思いますか。

参加の意向は、中学生より小学生の方が高い回答となっています。



問9 あなたは「再生可能エネルギーさいせいかのう」ということばを、知っていますか。

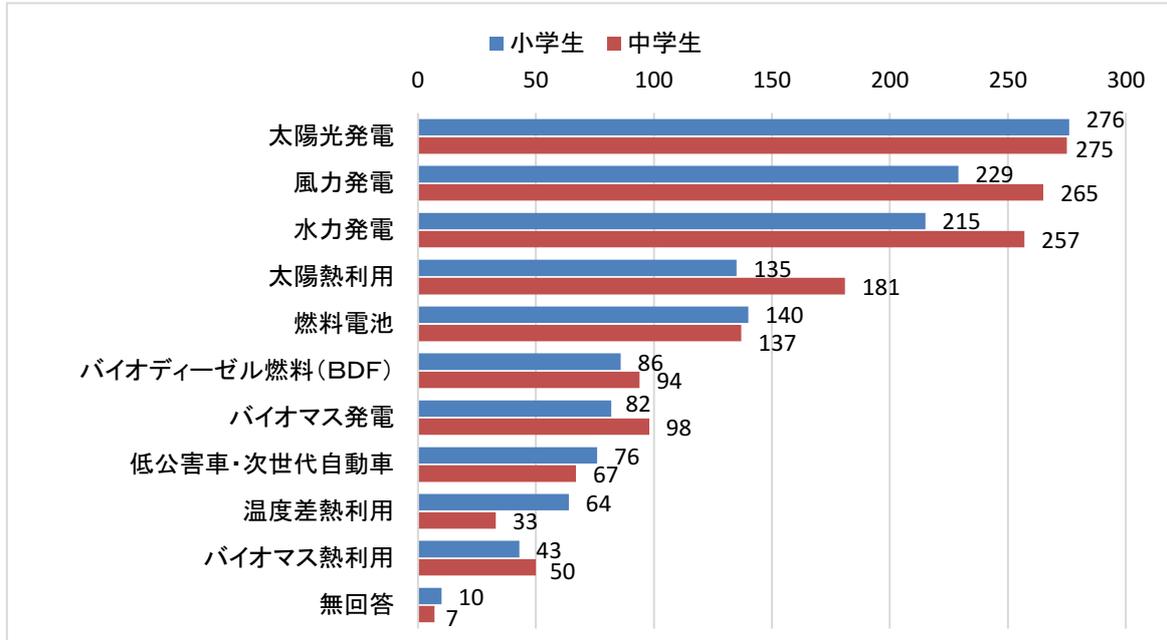
「再生可能エネルギー」は、小学生で半数、中学生ではほとんどの人が「知っている」と回答しています。



問10 再生可能エネルギーなどの地球にやさしいエネルギー利用には、次のようなものがあります。知っているものの番号に○をつけてください。

「太陽光発電」は、ほとんどの人が知っており、以下「風力発電」「水力発電」となっています。

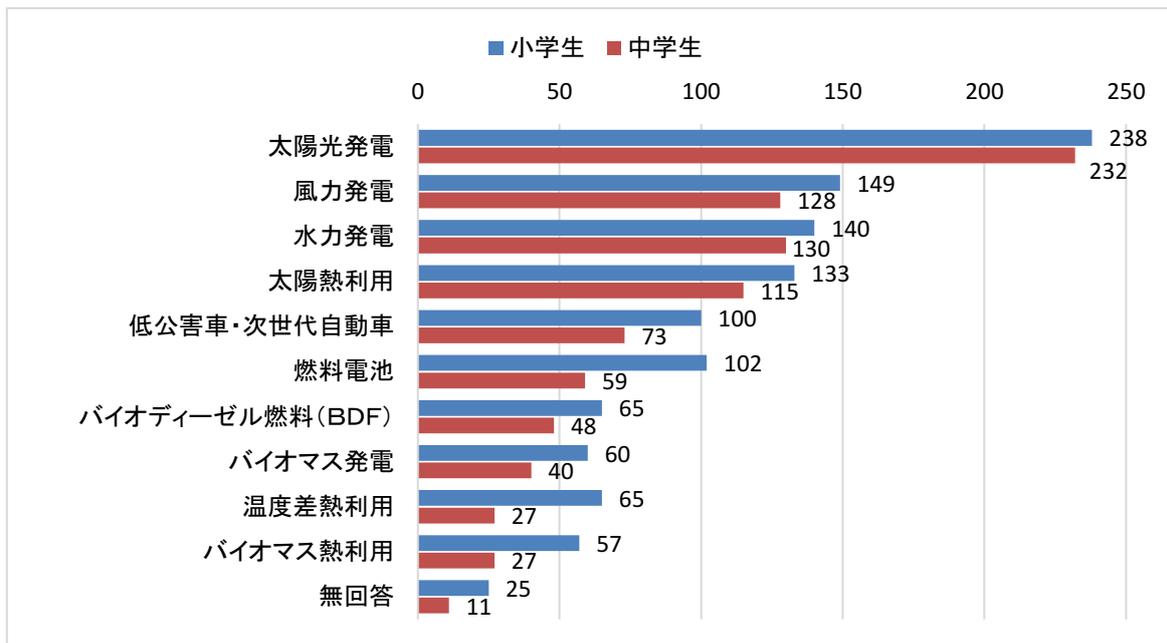
複数回答



問11 東温市で増えたらよいと思う再生可能エネルギーなどの地球にやさしいエネルギー利用はどれですか。

問10の認知度と同様に、「太陽光発電」「風力発電」「水力発電」が上位となっています。

複数回答



資料 5. 策定の経緯

(1) 東温市環境審議会の開催

平成 28 年 11 月 22 日	第 1 回 環境審議会	(1) 第 2 次東温市環境基本計画について (2) とうおんスマートエコタウン計画について (3) その他 (今後のスケジュール等)
平成 29 年 1 月 31 日	第 2 回 環境審議会	(1) 前審議会議事録確認について (2) 前審議会でのご意見に対する対応について (3) 第 2 次東温市環境基本計画について (4) とうおんスマートエコタウン計画について (5) その他 (今後のスケジュール等)
平成 29 年 3 月 14 日	第 3 回 環境審議会	(1) 前審議会議事録確認について (2) 前審議会でのご意見に対する対応について (3) 第 2 次東温市環境基本計画について (4) とうおんスマートエコタウン計画について (5) 計画の推進体制及び進行管理について

(2) 東温市環境審議会委員名簿

委員 11 名・オブザーバー 2 名 【50 音順】

氏 名	所 属 等	役 職
今西 俊介	東温市小・中学校長会 会長 (東温市立西谷小学校長)	委 員
越智 俊充	東温市商工会 会長 (株式会社 あぼんりー 代表取締役)	委 員
斉藤 智子	NPO法人自然環境教育えことのは 理事長	委 員
坂本 憲俊	穂田琉ファーム 代表	委 員
高市 妃登美	東温市園長・保育所長会 会長 (東温市立川内保育園長)	委 員
月原 文子	株式会社フジ フジグラン重信 店長	委 員
露口 省二	一般公募	委 員
鶴見 恵子	えひめ千年の森をつくる会 事務局長	委 員
藤岡 貞雄	愛媛県中小企業家同友会東温支部 支部長 (藤岡萬建設有限会社 代表取締役)	委 員
松村 暢彦	愛媛大学 社会共創学部 環境デザイン学科 教授	会 長
山内 和美	きらり東温 代表 (愛媛大学 国際連携支援部 国際連携課 課長)	副会長
熊野 哲也	経済産業省 四国経済産業局 地域経済部 次世代産業課 課長補佐 地方創生支援チーム (東温市担当)	オブザーバー
平山 和子	愛媛県立衛生環境研究所 主任研究員 資源環境科長	オブザーバー

